

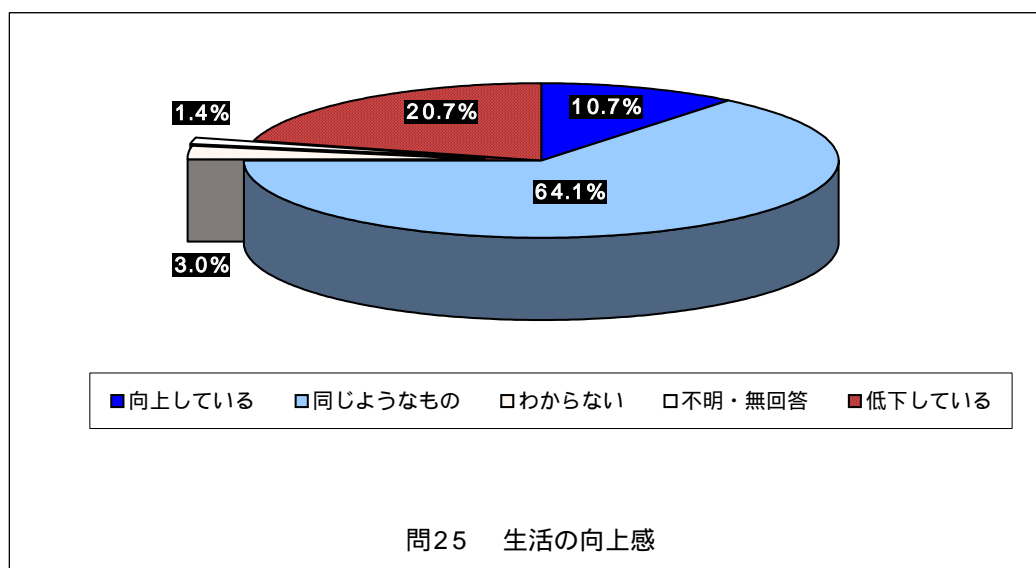
## 8 暮らし向きに対する意識

### (1) 生活の向上感

**問25** あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけてください。

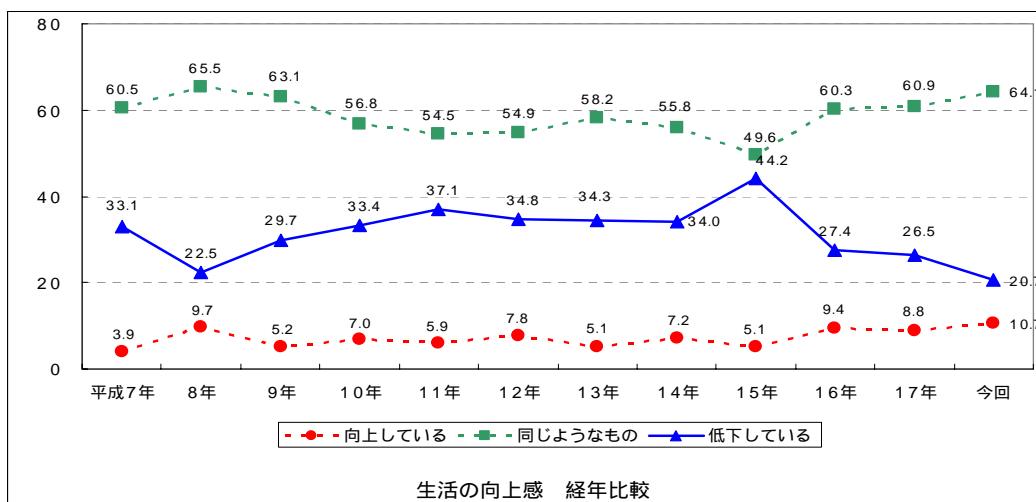
- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. 向上している  | 3. 低下している |
| 2. 同じようなもの | 4. わからない  |

「向上している」は10.7%、「同じようなもの」が64.1%、「低下している」が20.7%となっている。



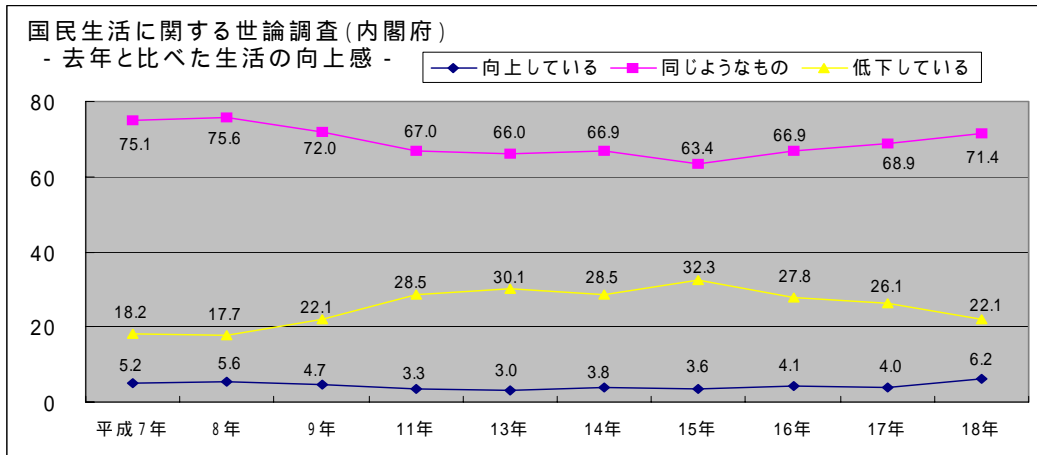
### 経年比較

前年度調査と比べると、「向上している」の比率が若干増加し、調査開始以降、最も高い比率となった。一方、「低下している」は5.8ポイント減少し、過去最低となっている。



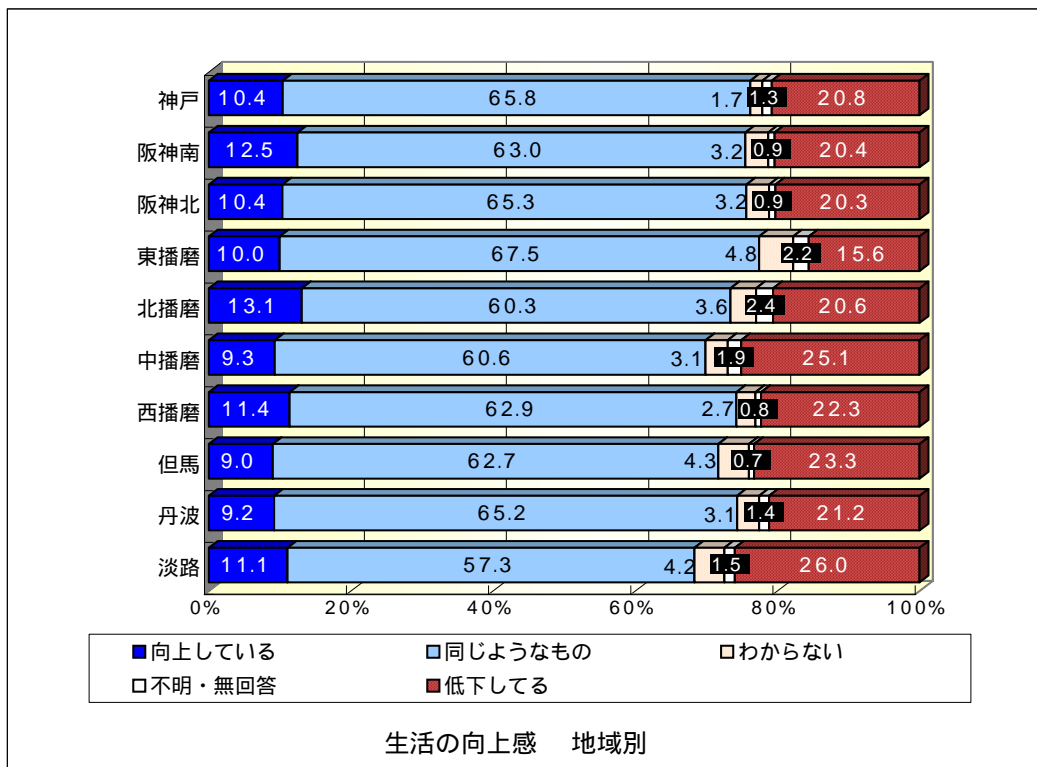
【 参考：平成 18 年全国調査 】

内閣府が毎年行っている「国民生活に関する世論調査」(平成 9～13 年は隔年)では、「向上している」が 6.2%、「同じようなもの」は 71.4%、「低下している」は 22.1%となっており、本県調査結果と比較すると「向上している」は、本県の方が 4.5 ポイント多く、「低下している」は本県の方が 1.4 ポイント少なくなっている。



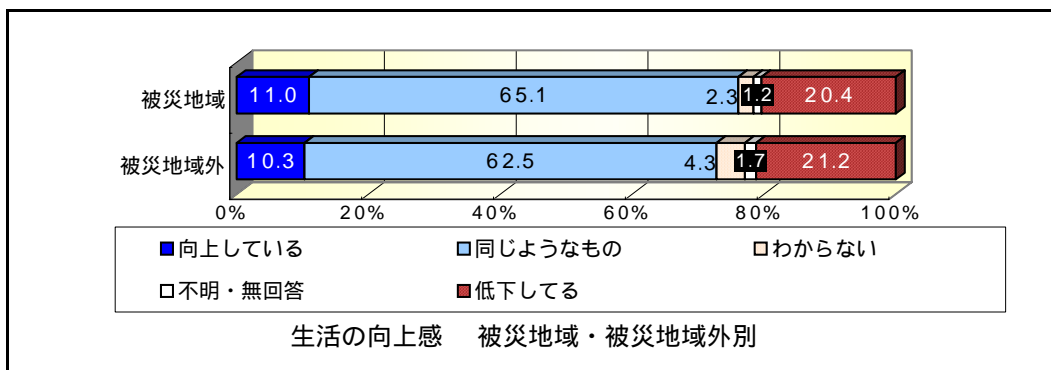
地域別

「向上している」の比率が最も高いのは、北播磨で 13.1%となっているが、地域間で大きな差異はみられない。一方、「低下している」の比率が最も高いのは淡路(26.0%)で、最も低い東播磨(15.6%)と 10.4 ポイントの差がある。



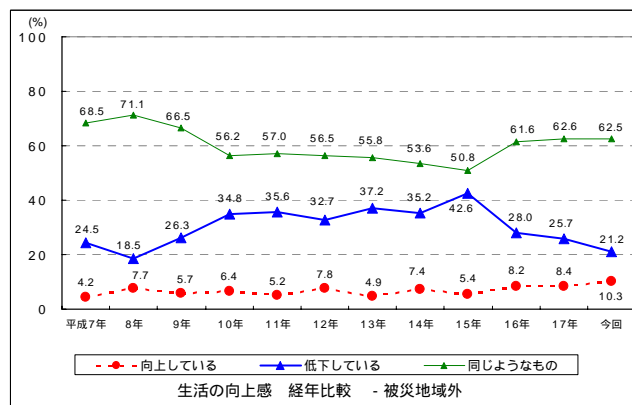
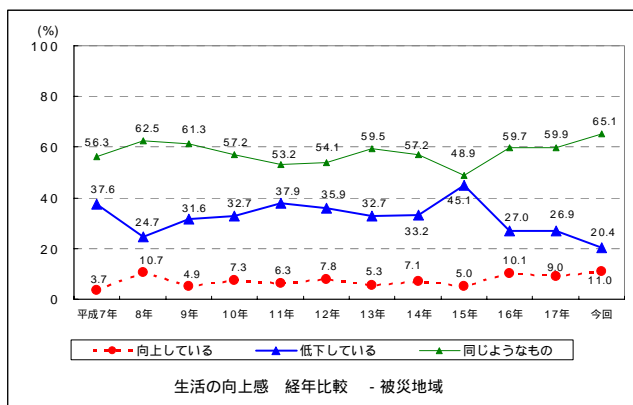
### 被災地域・被災地域外別

阪神・淡路大震災の被災地域・被災地域外別でみると、「向上している」「低下している」ともに大きな差違はみられない。



### 被災地域・被災地域外別（経年比較）

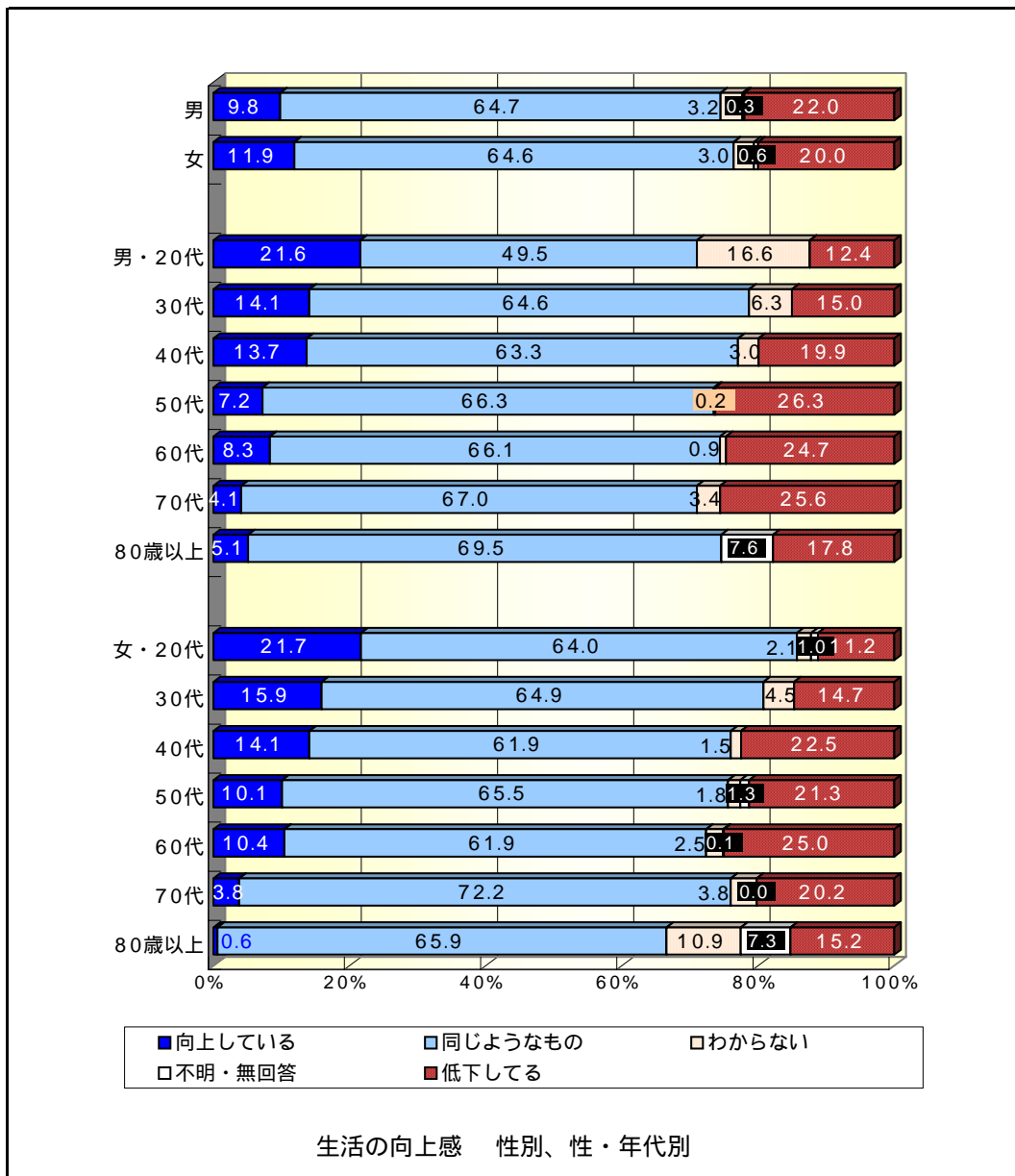
被災地域では、「向上している」と「同じようなもの」の比率は、調査開始以降最高となっており、「低下している」は最低となっている。また、被災地域外においても、「向上している」が増加し、「低下している」が減少する傾向にある。



## 性別、性・年代別

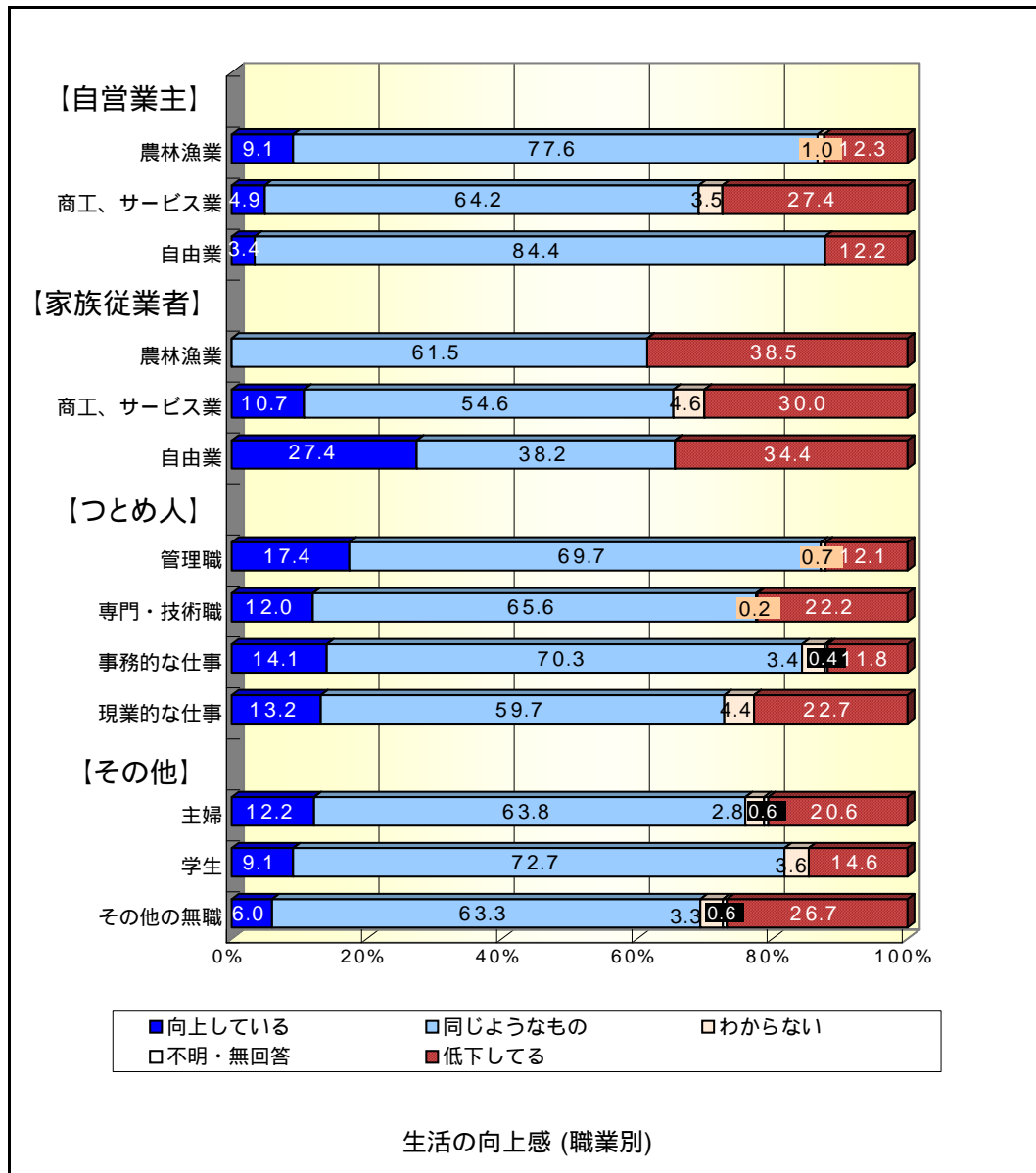
性別では、特に大きな差違はみられない。

性・年代別でみると、「向上している」の比率は、男女とも 20 代が最も高く 2 割を超えており、年齢層が上がるにつれて低下する傾向がみられる。一方、「低下している」の比率は、男性では 50 代～70 代で 25% 前後と高く、女性も 60 代で 25% となるなど、男女ともに最も低い 20 代とは最大約 14 ポイントの差がある。



## 職業別

「向上している」の比率が最も高い職業は、【家族従業者】の「自由業」で27.4%となっており、次いで【つとめ人】の「管理職」が17.4%となっている。一方、「低下している」の比率が高い職業は、【家族従業者】の「農林漁業」、「自由業」、「商工、サービス業」の順となっている。

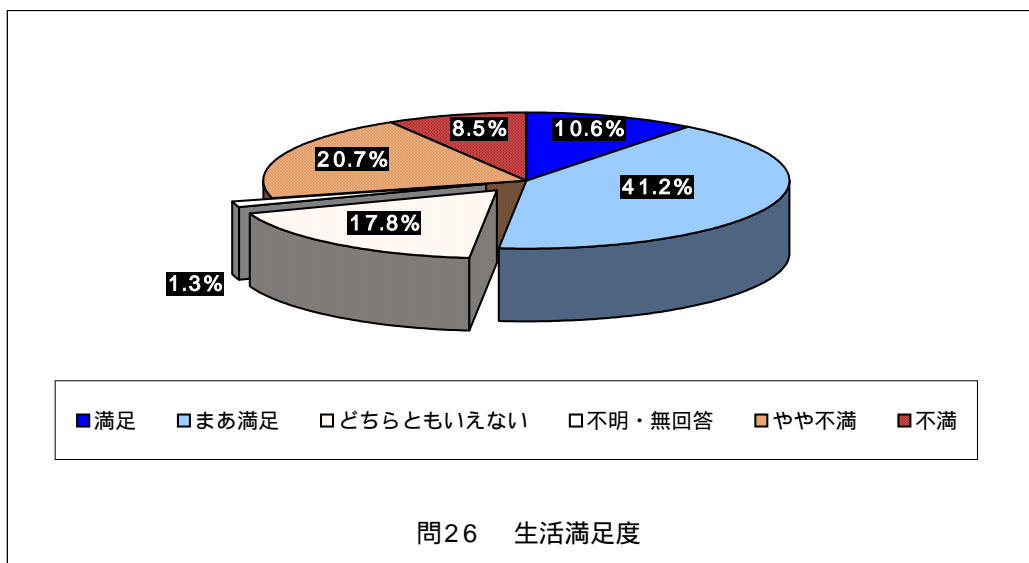


(2) 生活満足度

**問26** あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に印をつけてください。

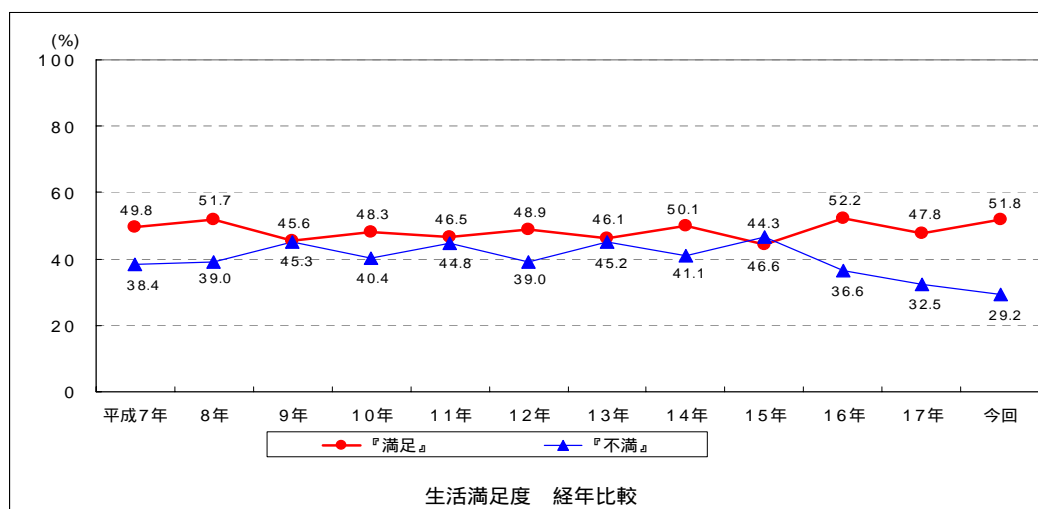
1. 満足                                      3. やや不満                                      5. どちらともいえない  
2. まあ満足                                      4. 不満

「満足」(10.6%)と「まあ満足」(41.2%)を合わせた『満足』は約5割(51.8%)となっており、「やや不満」(20.7%)と「不満」(8.5%)を合わせた『不満』を22.6ポイント上回っている。



**経年比較**

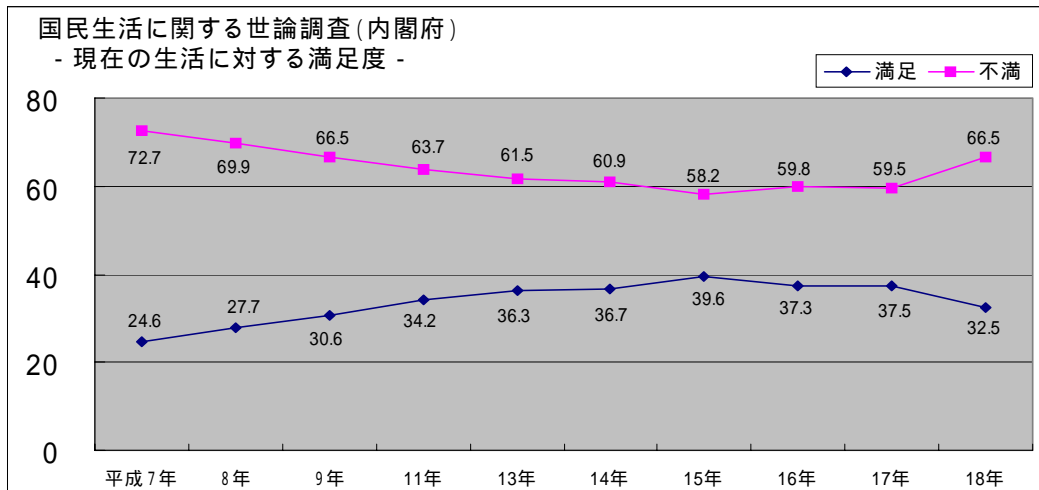
前年度調査と比べると、『満足(満足+まあ満足)』は4ポイント上昇し、平成16年に次ぐ水準まで上昇している。一方、『不満(やや不満+不満)』は3.3ポイント減少し、調査開始以降、初めて3割を下回った。



【 参考：平成 18 年全国調査 】

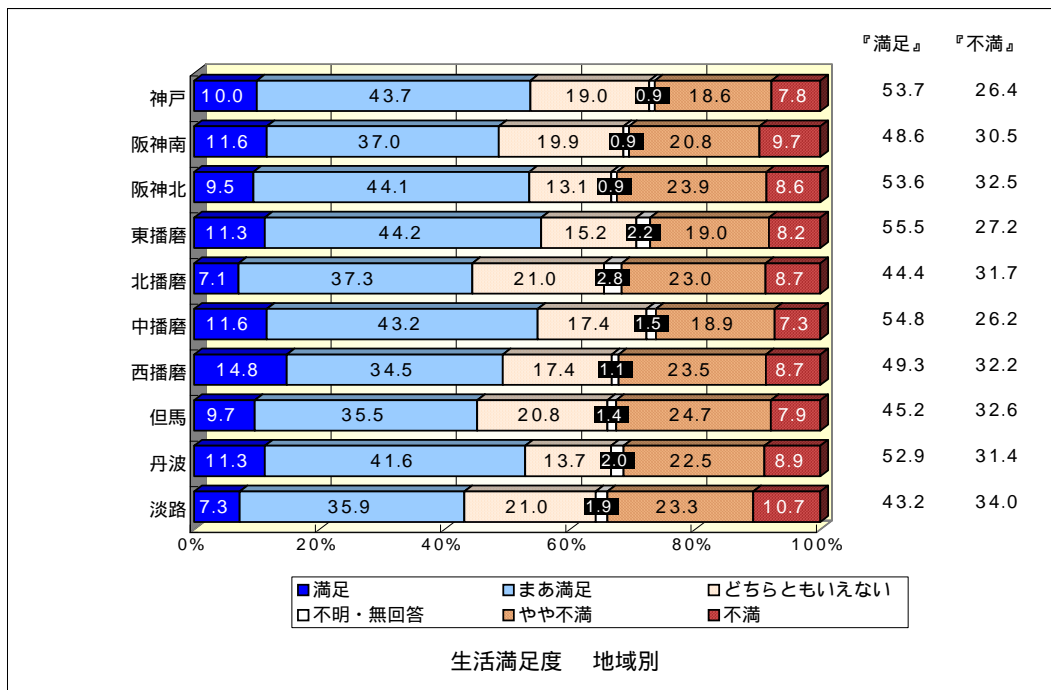
内閣府が毎年行っている「国民生活に関する世論調査」(平成 9～13 年は隔年)では、「満足している」(9.4%)と「まあ満足している」(57.1%)を合わせた『満足』は 66.5%となっており、本県よりも約 15 ポイント多くなっている。一方、「やや不満だ」(25.1%)と「不満だ」(7.4%)を合わせた『不満』は 32.5%となっており、本県の方が 3.3 ポイント少なくなっている。

同調査では、「どちらともいえない」との選択肢がない。



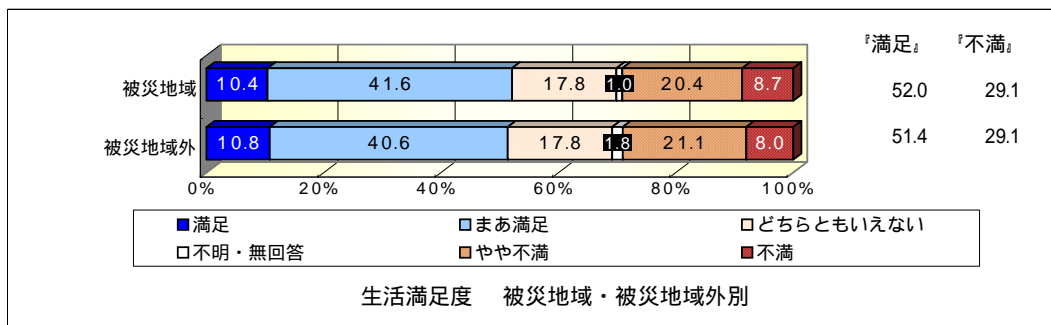
地域別

『満足』は、東播磨(55.5%)、中播磨(54.8%)、神戸(53.7%)、阪神北(53.6%)、丹波(52.9%)で 5 割を超えており、東播磨と最も少ない淡路(43.2%)とでは 12.3 ポイントの差がある。



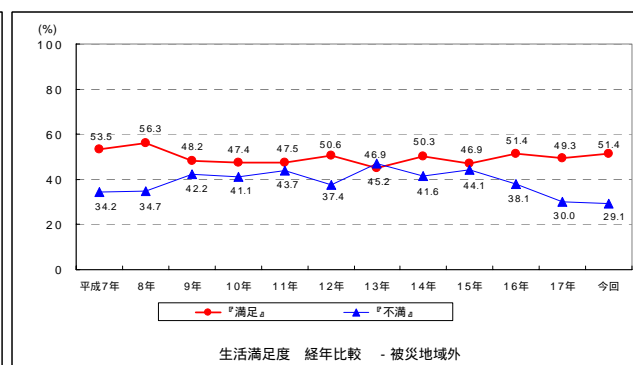
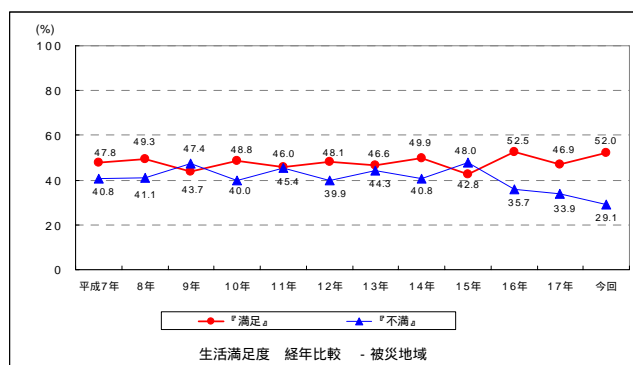
## 被災地域・被災地域外別

大きな差はみられない。



## 被災地域・被災地域外別（経年比較）

前年度調査と比べると両地域とも『満足』が増加し、『不満』が減少している。『不満』は、両者とも調査開始以来、最も少なくなっている。

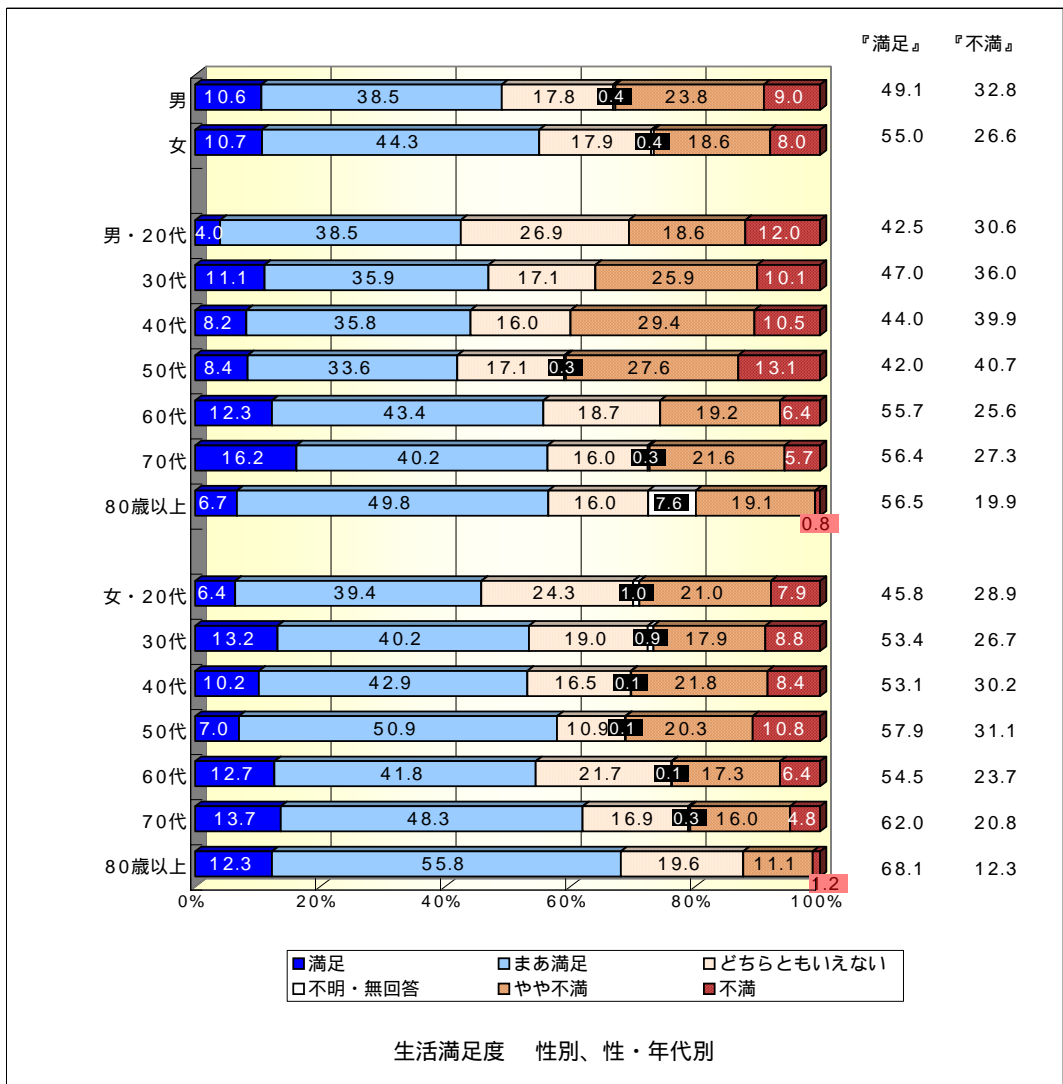


## 性別、性・年代別

性別でみると、『満足』の比率は女性（55.0%）の方が男性（49.1%）よりも5.9ポイント、『不満』の比率は男性の方が女性よりも6.2ポイント、それぞれ高くなっている。

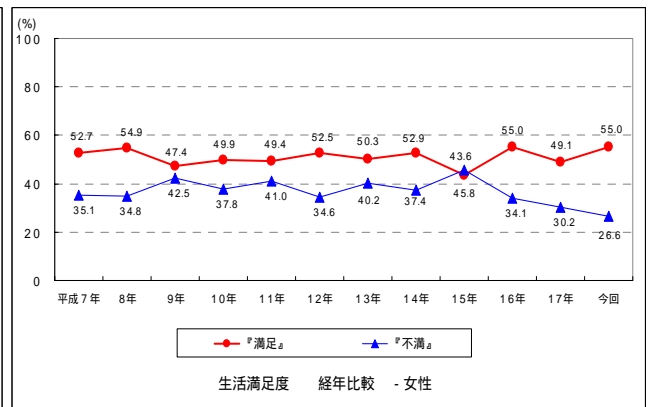
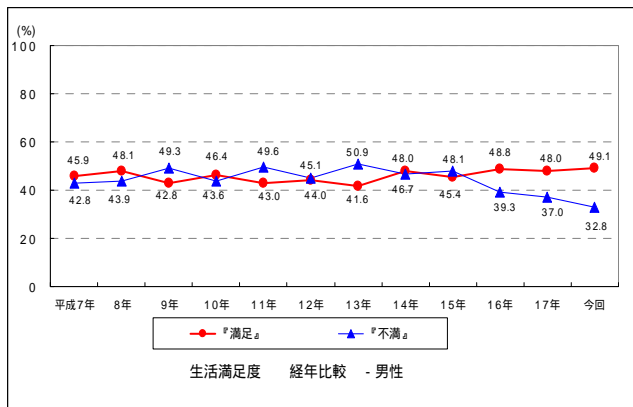
性・年代別でみると、男性では60代以上の年齢層で『満足』の比率が5割を超え高くなっており、40代や50代は『不満』が4割前後と高くなっている。女性では、70代以上の年齢層で『満足』が6割を超えて高くなっている。





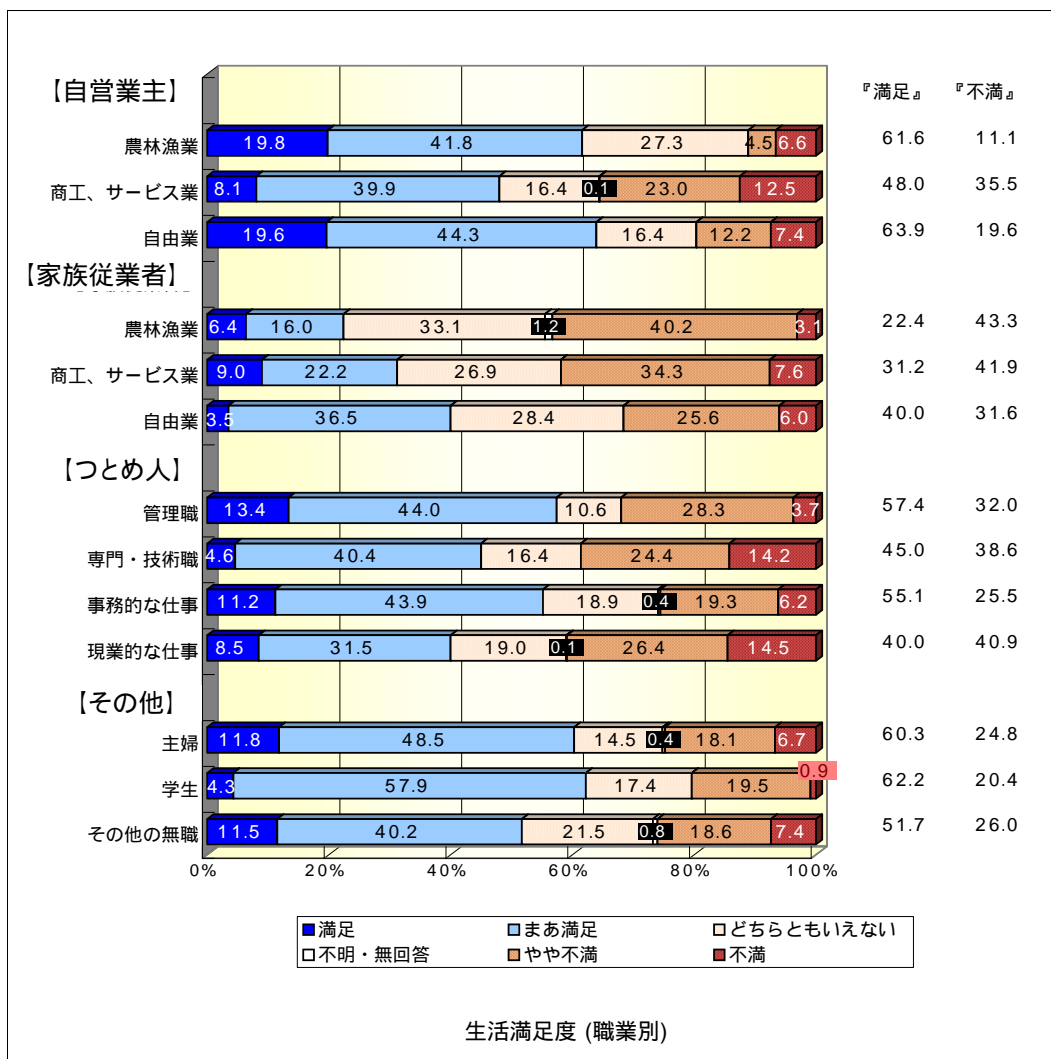
### 性別（経年比較）

前年度調査と比べると、男性では『満足』が微増しており、『不満』が減少している。女性は、『満足』が過去最高であった一昨年水準まで回復した。



## 職業別

『満足』の比率が高い職業は、【自営業主】の「自由業」、「農林漁業」、【その他】の「学生」、「主婦」であり、いずれも60%を超えている。一方、『不満』の比率が高いのは、【家族従業者】の「農林漁業」、「商工サービス業」で4割を超え、『満足』の比率を10ポイント以上、上回っている。



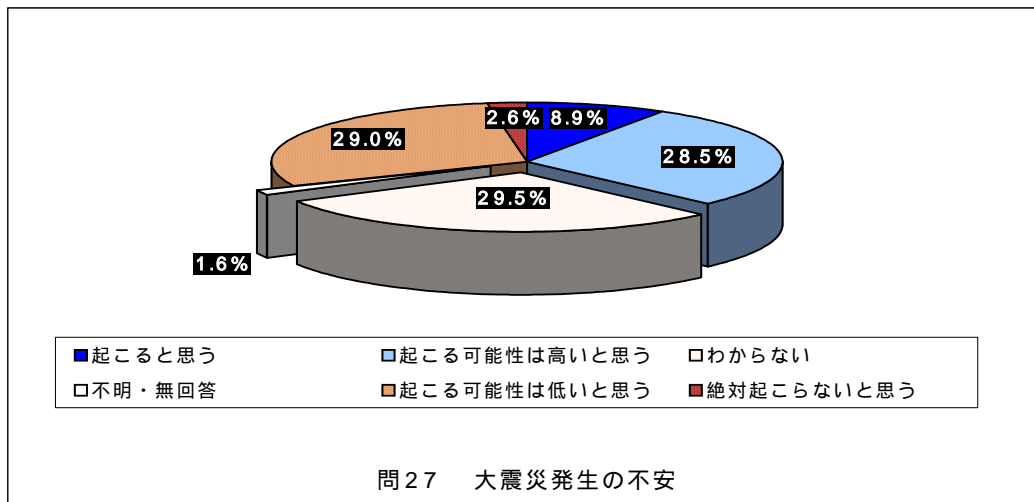
## 9 震災に対する意識

### (1) 大震災発生の不安

**問27** あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に印をつけてください。

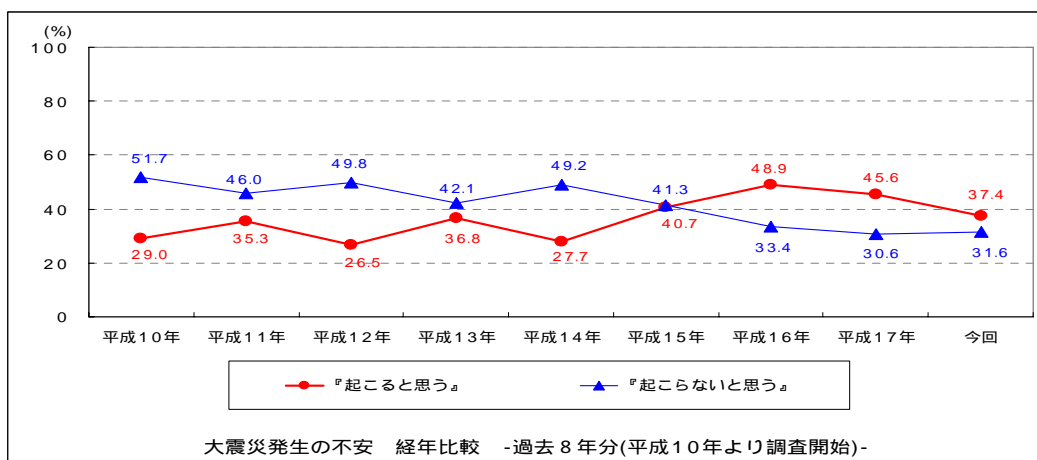
- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 起こると思う       | 4. 絶対起こらないと思う |
| 2. 起こる可能性は高いと思う | 5. わからない      |
| 3. 起こる可能性は低いと思う |               |

「起こると思う」(8.9%)と「起こる可能性は高いと思う」(28.5%)を合わせた『起こると思う』は4割弱(37.4%)となっている。一方、「起こる可能性は低いと思う」(29.0%)と「絶対起こらないと思う」(2.6%)を合わせた『起こらないと思う』は3割強(31.6%)となっており、『起こると思う』が『起こらないと思う』を5.8ポイント上回っている。



### 経年比較

『起こると思う』の比率は、平成16年以降低下傾向にあり、今回は前年より8.2ポイント減少した。一方、『起こらないと思う』の比率は、1ポイントと僅かに増加している。

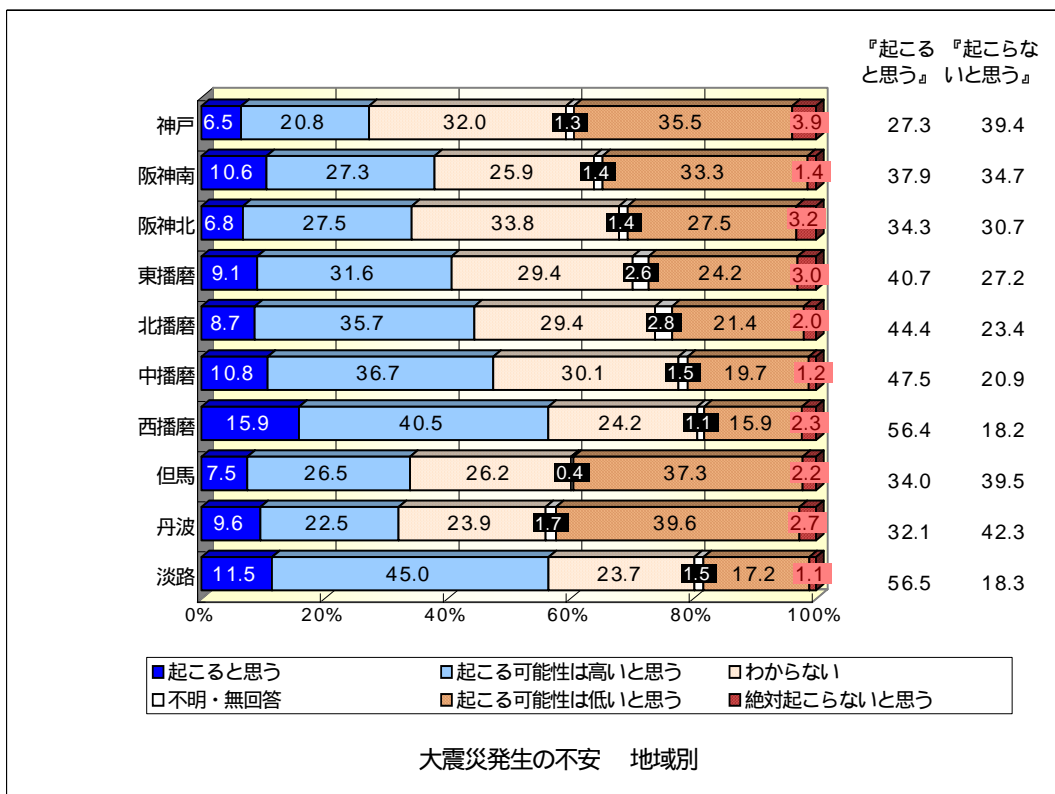


## 地域別

『起こると思う』の比率は、淡路（56.5%）、西播磨（56.4%）で5割を超えて高く、中播磨（47.5%）、北播磨（44.4%）、東播磨（40.7%）が続いている。一方、比率が低いのは神戸（27.3%）、丹波（32.1%）などであり、淡路と神戸では29.2ポイントの差がある。

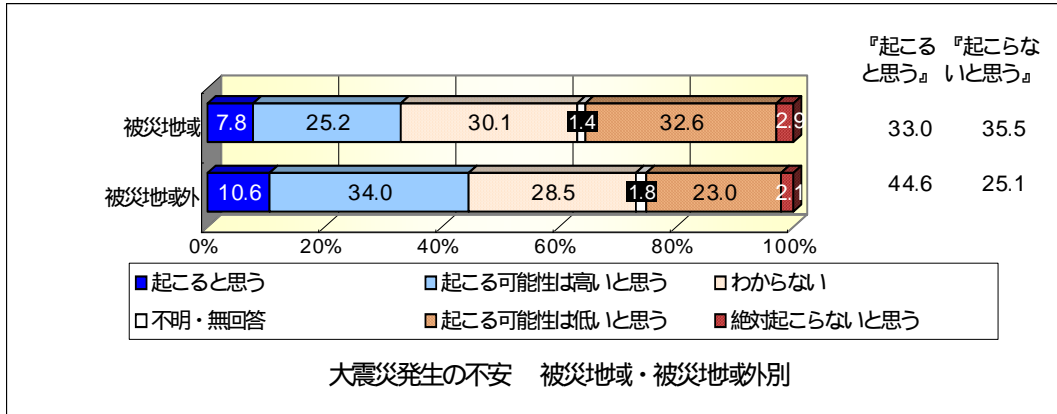
一方、『起こらないと思う』の比率は、丹波（42.3%）、但馬（39.5%）、神戸（39.4%）などの地域で高く、丹波と最も低い西播磨（18.2%）とでは24.1ポイントの差がある。

『起こると思う』が『起こらないと思う』を上回っている地域は、西播磨（+38.2ポイント）、淡路（+38.2ポイント）、中播磨（+26.6ポイント）、北播磨（+21.0ポイント）などである。一方、神戸、丹波、但馬の3地域では、『起こらないと思う』が『起こると思う』を上回っている。



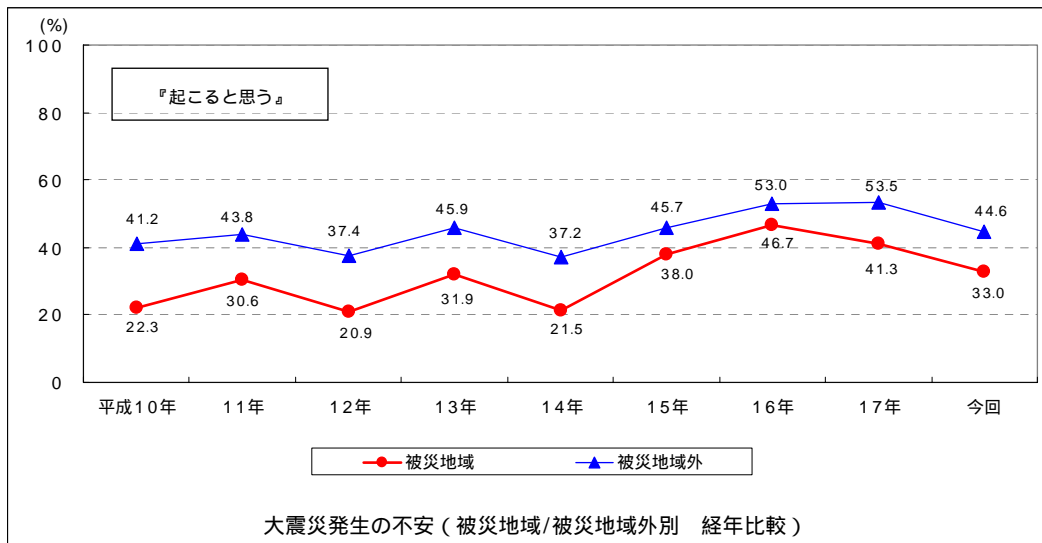
### 被災地域・被災地域外別

『起こると思う』の比率は、被災地域外の方が11.6ポイント上回っている。



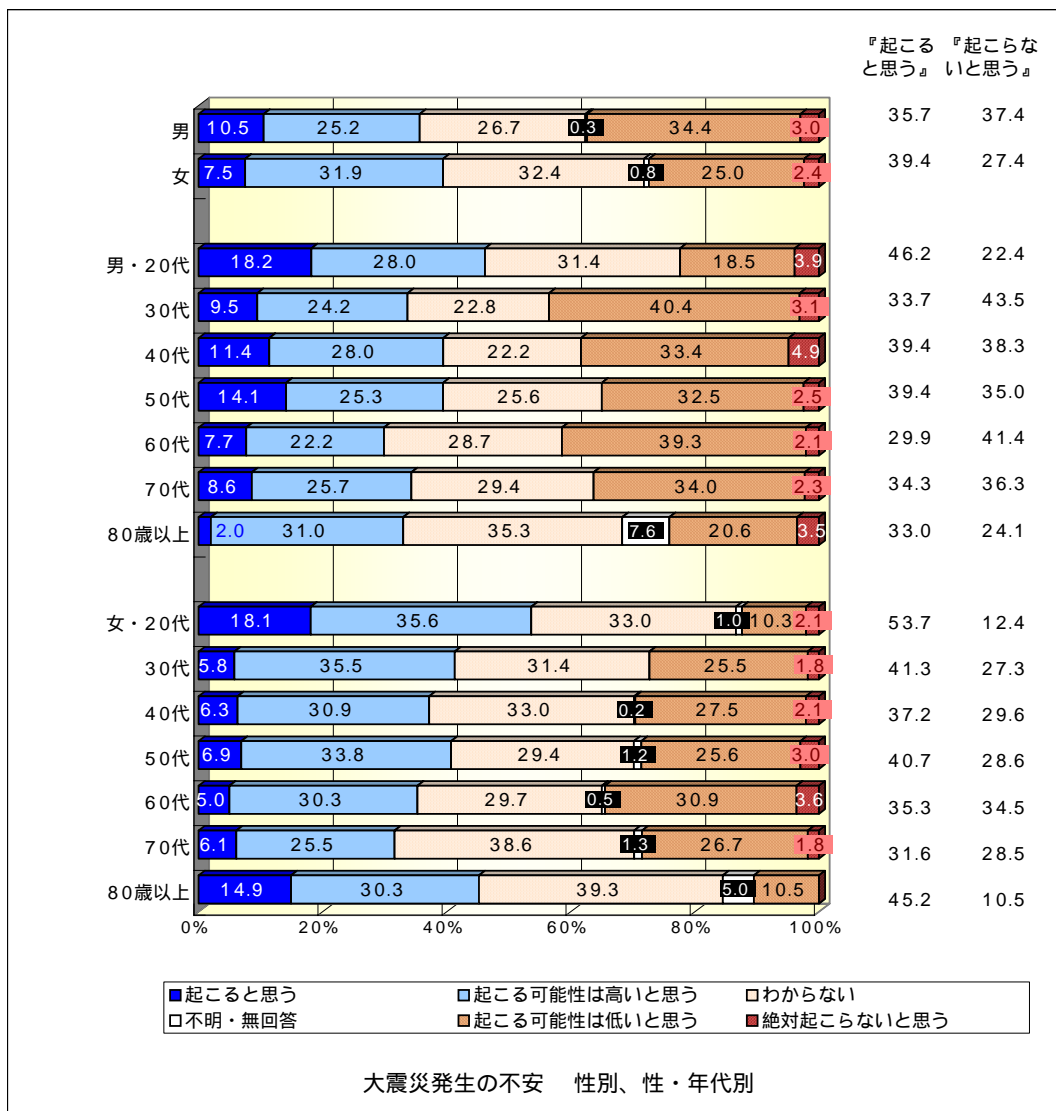
### 被災地域・被災地域外別（経年比較）

前年度調査と比べると、『起こると思う』の比率は、両地域とも低下している。



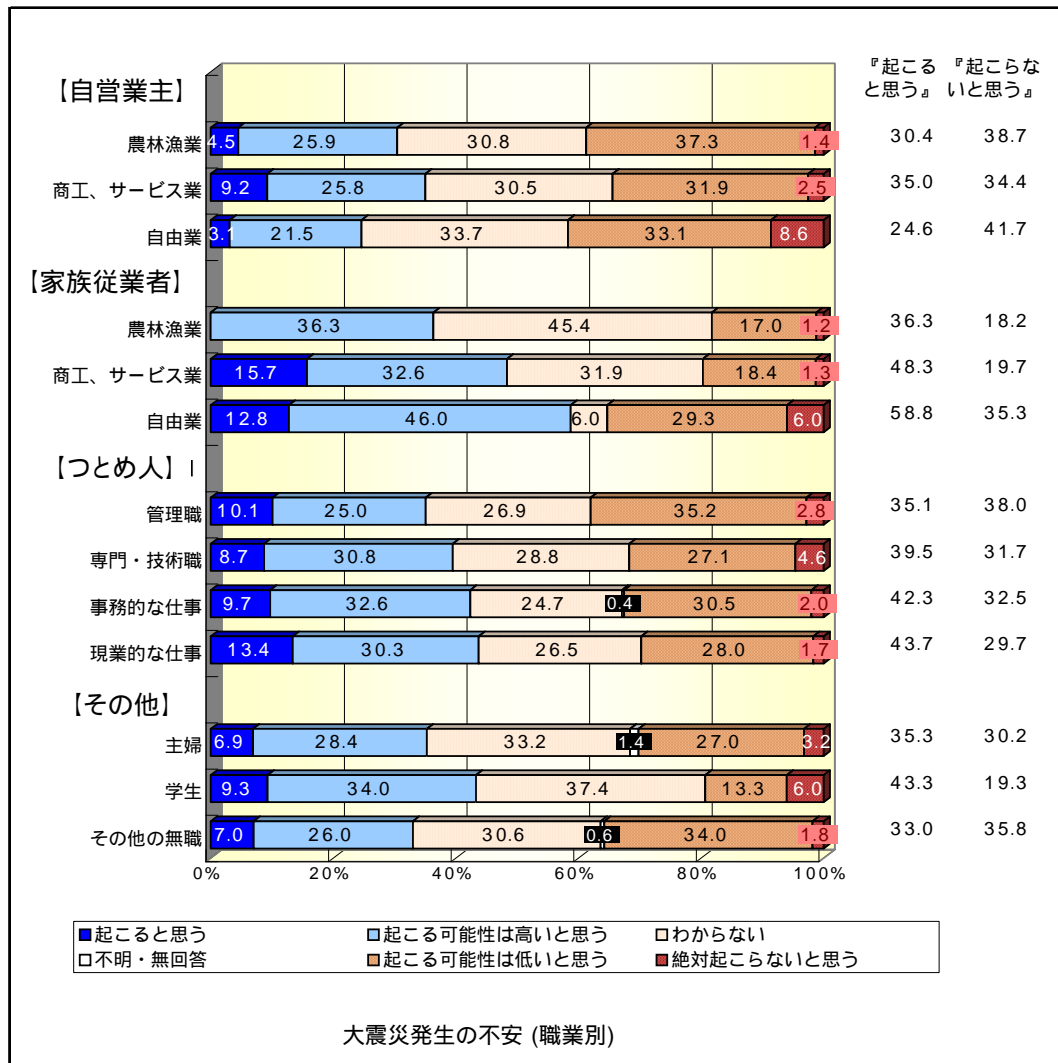
## 性別、性・年代別

性別で見ると、男性は女性に比べて『起こらないと思う』の比率が10ポイント以上多くなっている。性・年代別で見ると、男性は、20代で『起こると思う』が46.2%と多く、『起こらないと思う』(22.4%)を23.8ポイント上回っている。一方、60代では『起こらないと思う』(41.4%)が『起こると思う』(29.9%)を11.5ポイント上回っており、年代によって意識に差異がみられる。女性は、『起こると思う』が『起こらないと思う』を、20代で41.3ポイント、80代以上で34.7ポイント上回るなど、全ての年代で『起こると思う』の比率の方が高くなっている。



## 職業別

『起こると思う』の比率が高い職業は、【家族従業者】の「自由業」、「商工、サービス業」、【つとめ人】の「現業的な仕事」、「事務的な仕事」、【その他】の「学生」であり、いずれも4割を超えている。



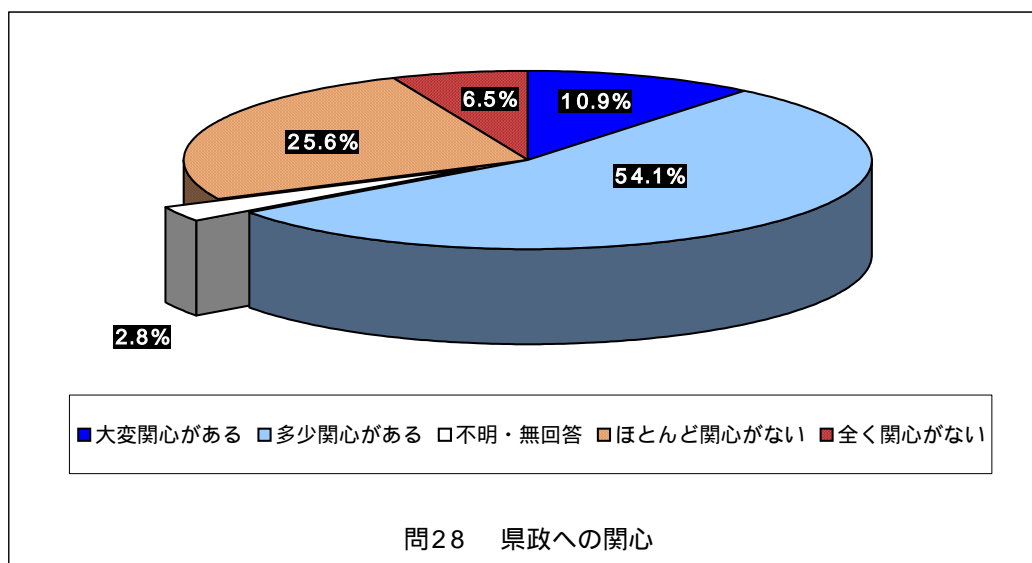
## 10 県政への意識

### (1) 県政への関心

**問28** あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に印をつけてください。

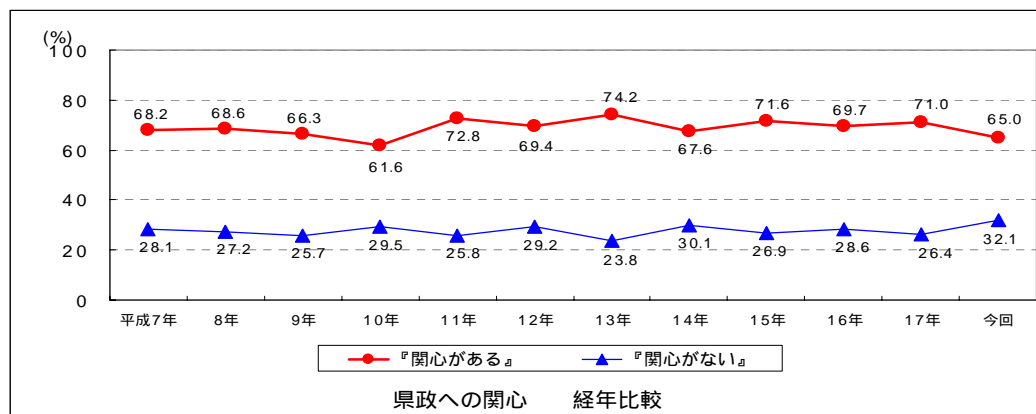
- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. 大変関心がある | 3. ほとんど関心がない |
| 2. 多少関心がある | 4. 全く関心がない   |

『関心がある』(「大変関心がある」(10.9%) + 「多少関心がある」(54.1%))は65.0%、『関心がない』(「ほとんど関心がない」(25.6%) + 「全く関心がない」(6.5%))は32.1%となっており、『関心がある』が『関心がない』を32.9ポイント上回っている。



### 経年比較

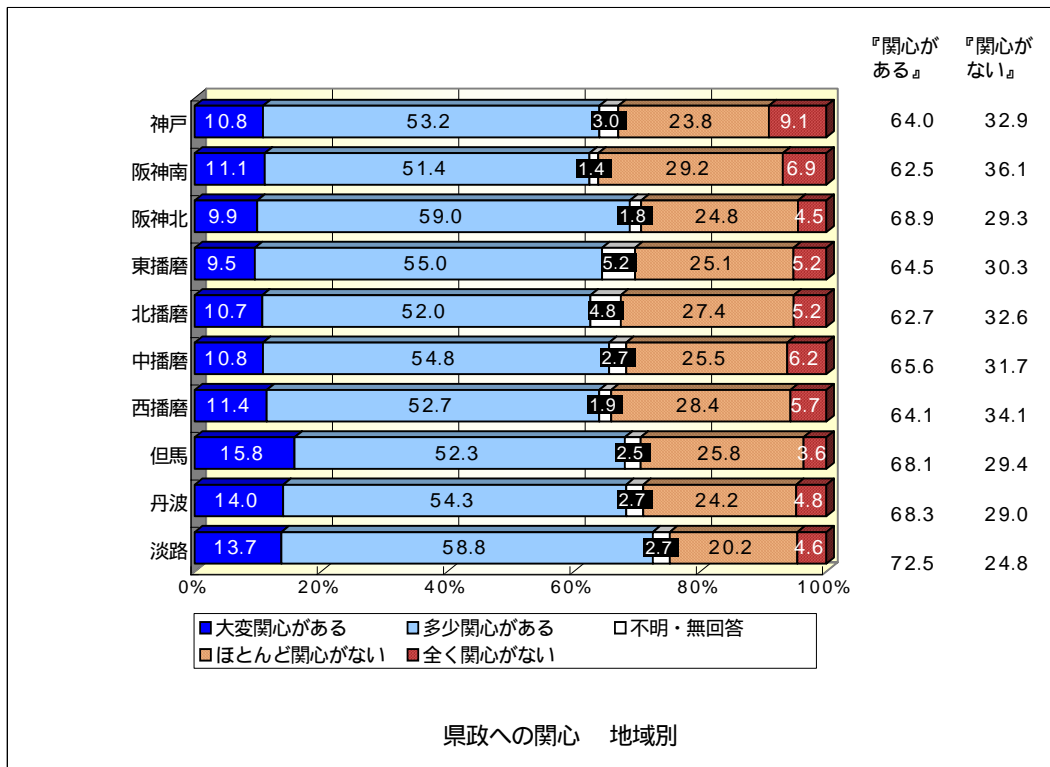
『関心がある』の比率は、前年より6ポイント減少している。逆に『関心がない』の比率は、前年から約6ポイント増加し、調査開始以降、最高となった。





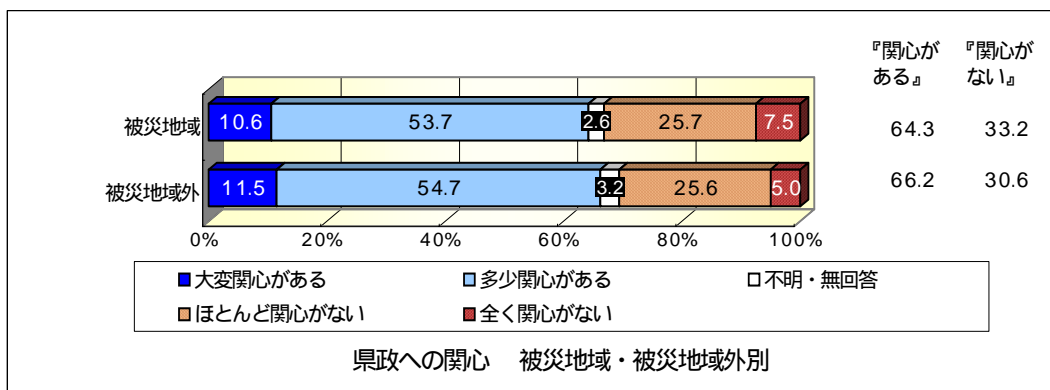
## 地域別

全ての地域で『関心がある』が『関心がない』を上回っており、中でも淡路は、47.7ポイントと特に大きく上回っている。



## 被災地域・被災地域外別

特に大きな差異はみられない。

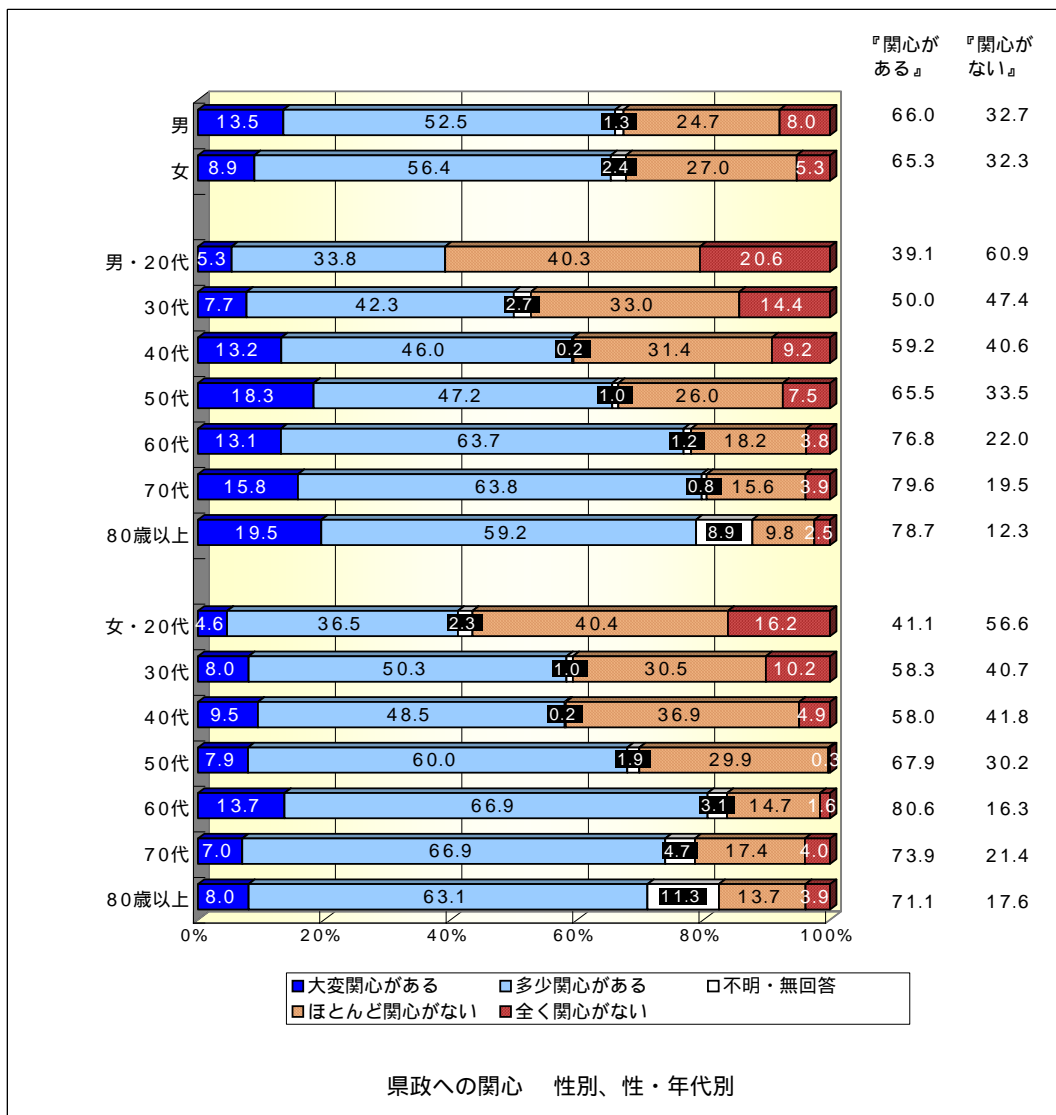


## 性別、性・年代別

性別では、大きな差異はみられない。

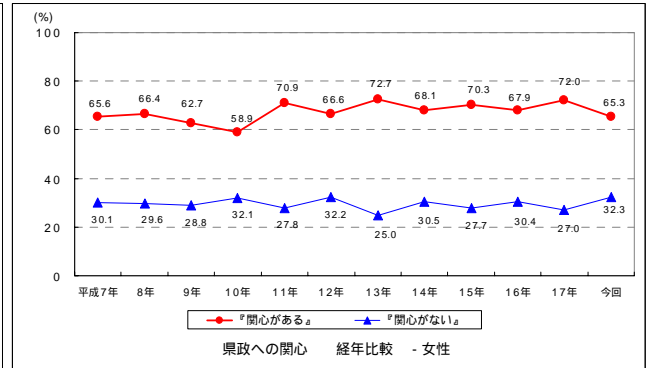
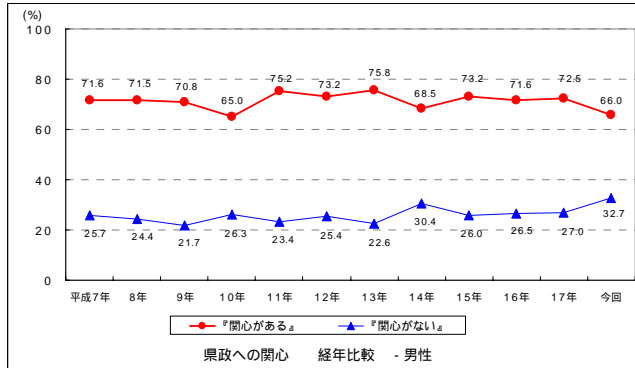
性・年代別では、男性は年齢層が上がるにつれて関心が高くなっており、『関心がある』が最も多い70代(79.6%)と最も少ない20代(39.1%)とでは、40.5ポイントの差がある。一方、女性も、概ね年齢層が上がるほど関心が高くなっているが、60代をピークに、70代、80歳以上はやや減少している。

男女とも、20代では、『関心がない』が6割前後(男性60.9%、女性56.6%)と非常に多くなっている。



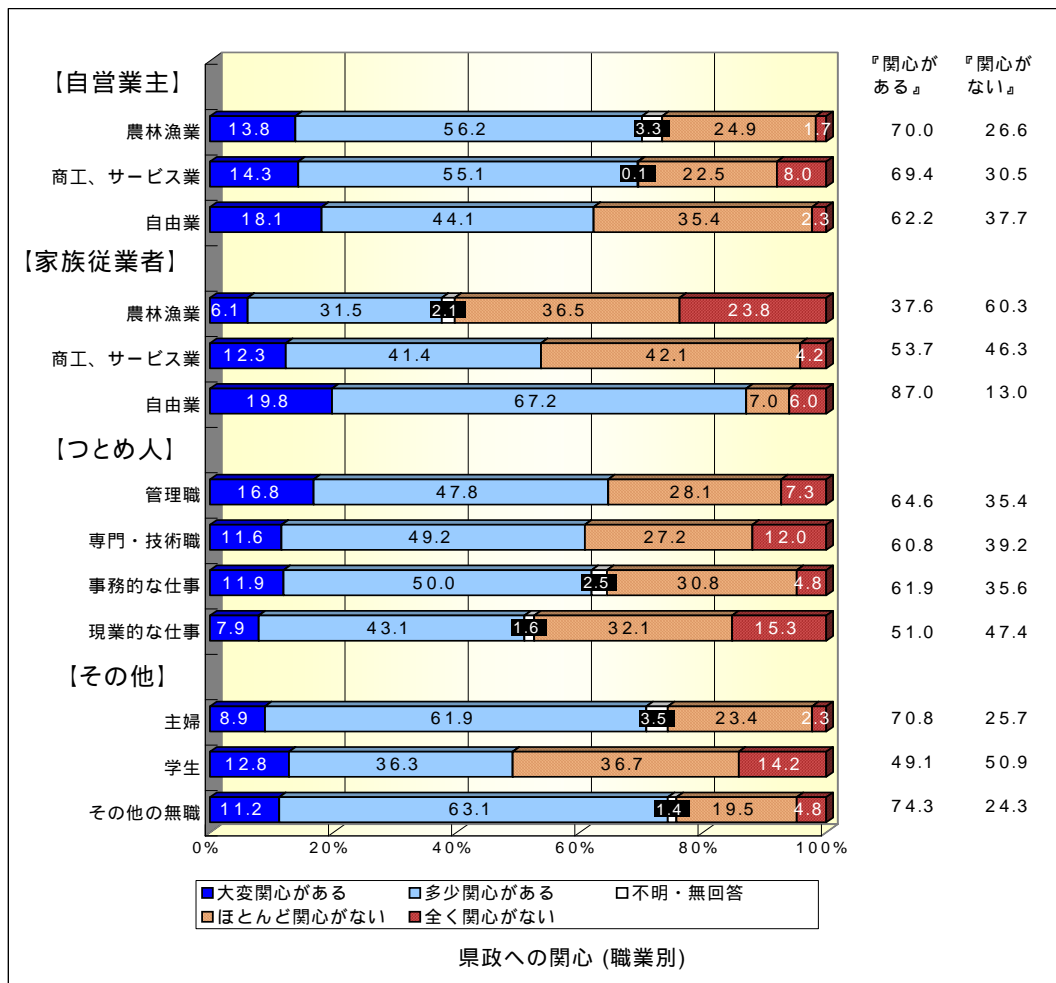
## 性別（経年比較）

性別の経年変化では、男性、女性とも前年度調査と比較して『関心がある』の比率は約6ポイント減少し、逆に『関心がない』は約5ポイント増加している。



## 職業別

『関心のある』の比率が70%以上となっているのは、【自営業主】の「農林漁業」、【家族従業者】の「自由業」、【その他】の「主婦」、「その他の無職」であり、多くが60%を超えている。一方、【家族従業者】の「農林漁業」と【その他】の学生の2項目のみ、『関心がない』が『関心がある』を上回っている。



(2) 県政への評価

**問 29-1** 県が行っている仕事をあげています。それぞれについて、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んで番号に 印をつけてください。

- (ア) 国際的な交流や協力
- (イ) 県政の広報・広聴活動
- (ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- (エ) 防災対策の充実
- (オ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援
- (カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興
- (キ) 自然環境を守り育てる環境対策
- (ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- (ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- (コ) 創造的活力に富む中小企業の育成
- (サ) 雇用の安定と職業能力の開発
- (シ) 農林水産業の活性化対策
- (ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- (セ) 良質な住宅の供給
- (ソ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実
- (タ) 交通安全・防犯対策
- (チ) 震災からの復興対策

- |              |              |             |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. よくやっている   | 3. どちらともいえない | 5. もっと努力が必要 |
| 2. まあまあやっている | 4. もう少し努力が必要 |             |

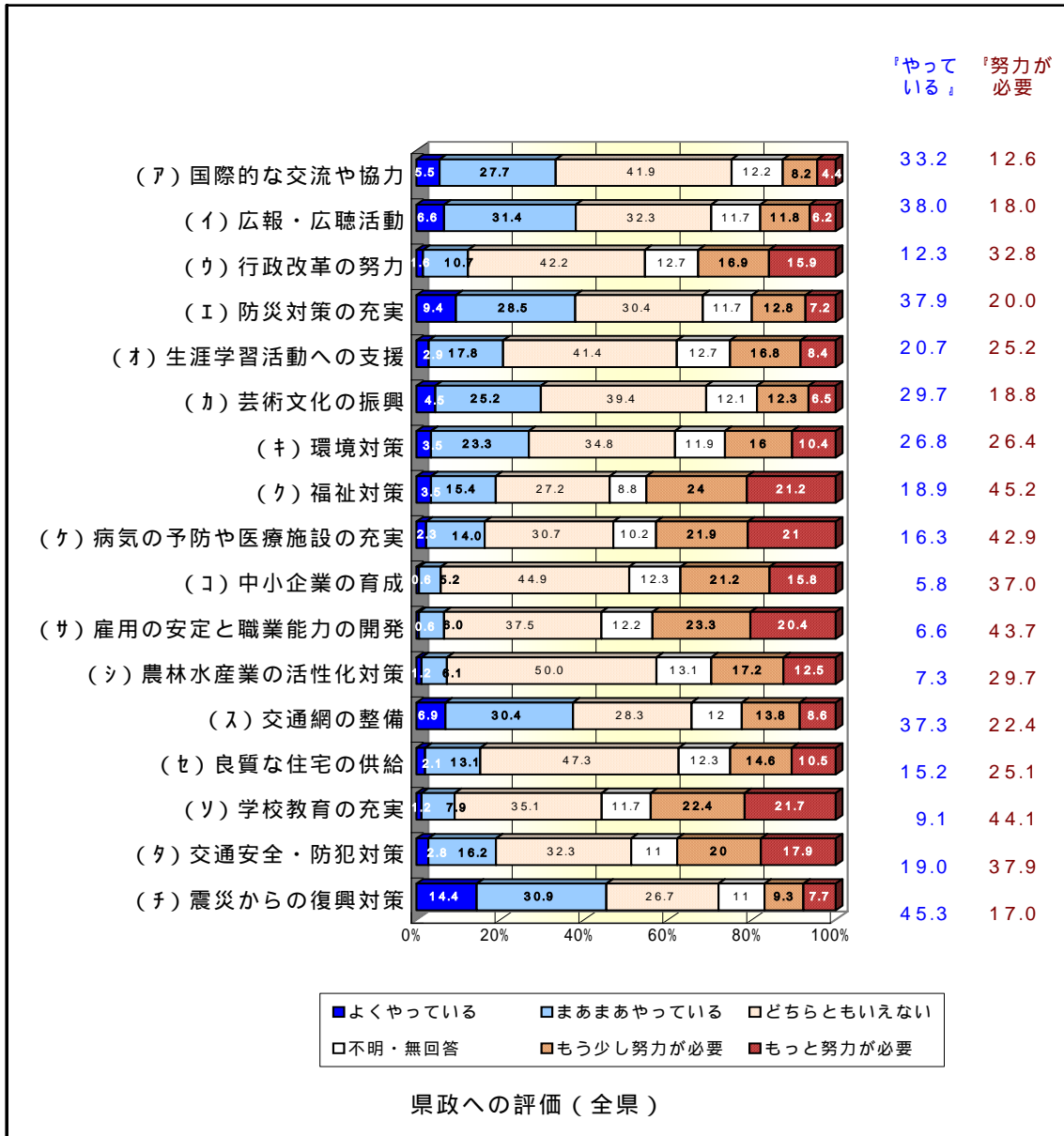
県政の主要 17 項目の評価項目毎に 5 段階評価の形で聞いた。

『やっている』（「よくやっている」＋「まあまあやっている」）が最も多いのは、「震災からの復興対策」で 45.3% となっており、「広報・広聴活動」（38.0%）、「防災対策の充実」（37.9%）、「交通網の整備」（37.3%）の順で続いている。

一方、『努力が必要』（「もう少し努力が必要」＋「もっと努力が必要」）が最も多いのは、「福祉対策」で 45.2% となっており、「学校教育の充実」（44.1%）、「雇用の安定と職業能力の開発」（43.7%）、「病気の予防や医療施設の充実」（42.9%）の順で続いている。

全体としては、17 項目中 10 項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。

前年度調査と比べると、『やっている』の比率は「広報・広聴活動」や「交通網の整備」など 5 項目で増加している一方、『努力が必要』の比率は、「福祉対策」で 7.3 ポイント増加したほか、「生涯学習活動への支援」など 7 項目で増加している。



全県	『やっ ている』 - 前年結果との比較	増減
(イ) 広報・広聴活動		3.1
(ス) 交通網の整備		1.9
(キ) 環境対策		1.8
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発		0.9
(エ) 防災対策の充実		0.8
(カ) 芸術文化の振興		0.0
(コ) 中小企業の育成		-0.2
(ウ) 行政改革の努力		-0.6
(ク) 福祉対策		-0.8
(シ) 農林水産業の活性化対策		-1.3
(セ) 良質な住宅の供給		-1.5
(オ) 生涯学習活動への支援		-1.5
(タ) 交通安全・防犯対策		-1.5
(ア) 国際的な交流や協力		-2.5
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実		-2.6
(ソ) 学校教育の充実		-3.0
(チ) 震災からの復興対策		-4.1

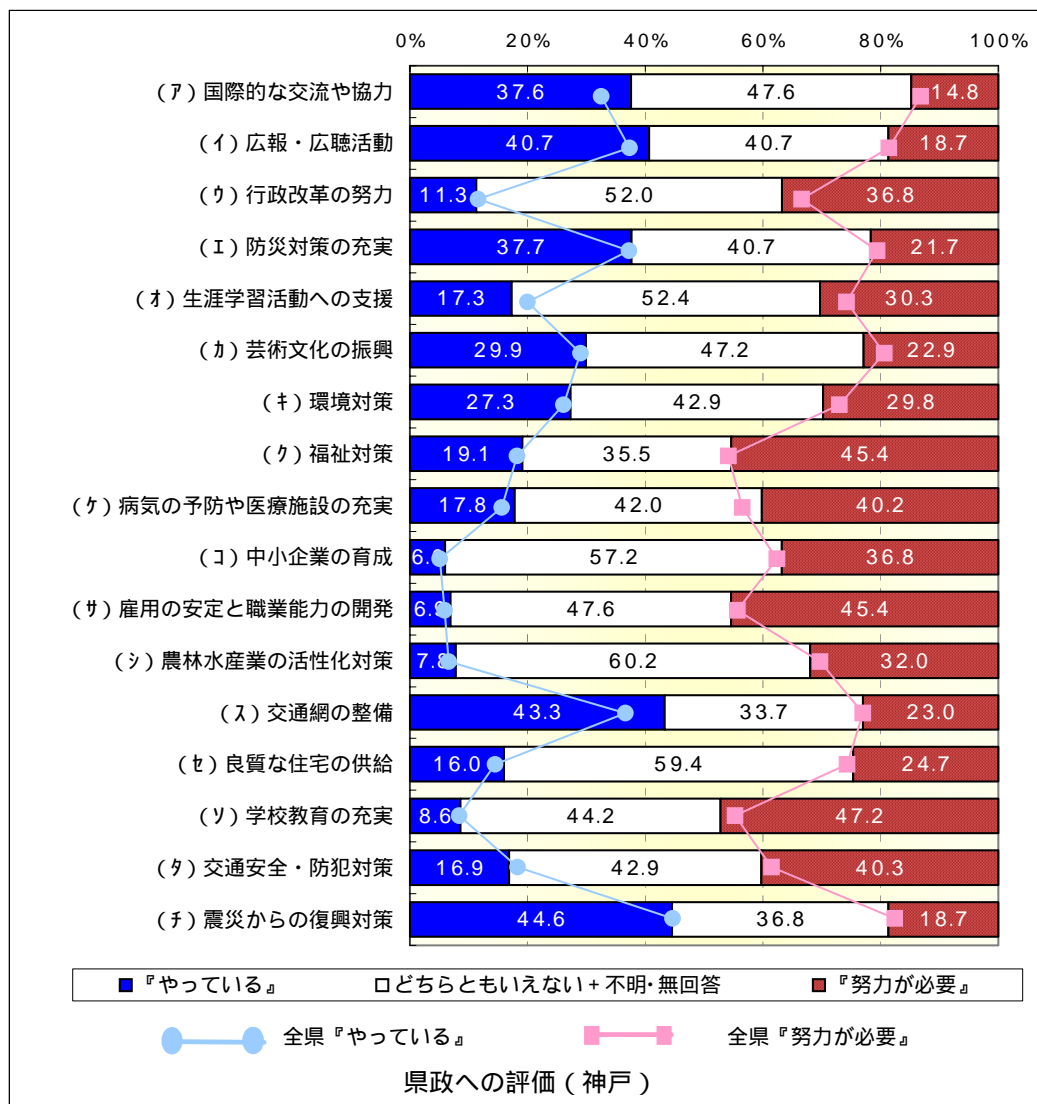
全県	『努力が必要』 - 前年結果との比較	増減
(ク) 福祉対策		7.3
(オ) 生涯学習活動への支援		3.8
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実		3.7
(ソ) 学校教育の充実		2.8
(ア) 国際的な交流や協力		1.4
(カ) 芸術文化の振興		0.8
(シ) 農林水産業の活性化対策		0.5
(ス) 交通網の整備		-0.1
(チ) 震災からの復興対策		-0.1
(タ) 交通安全・防犯対策		-0.2
(イ) 広報・広聴活動		-0.8
(コ) 中小企業の育成		-1.4
(キ) 環境対策		-1.4
(セ) 良質な住宅の供給		-1.7
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発		-1.9
(ウ) 行政改革の努力		-3.1
(エ) 防災対策の充実		-6.5

## 〈神戸〉

『やっている』が最も多いのは、「震災からの復興対策」で4割台半ば(44.6%)となっており、「交通網の整備」(43.3%)、「広報・広聴活動」(40.7%)の順で続いている。

一方、『努力が必要』では、「学校教育の充実」(47.2%)、「福祉対策」(45.4%)、「雇用の安定と職業能力の開発」(45.4%)、「交通安全・防犯対策」(40.3%)、「病気の予防や医療施設の充実」(40.2%)が4割を超えて多くなっている。

17項目中、11項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で神戸が全県結果を上回っているのは、「交通網の整備」(6.0ポイント)や「国際的な交流や協力」(4.4ポイント)、「広報・広聴活動」(2.7ポイント)など11項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県結果を上回っているのは、「生涯学習活動への支援」(5.1ポイント)、「芸術文化の振興」(4.1ポイント)、「行政改革の努力」(4.0ポイント)など14項目となっている。

神戸 『やっている』 - 全県結果との比較	比率 の差
(ス) 交通網の整備	6.0
(ア) 国際的な交流や協力	4.4
(イ) 広報・広聴活動	2.7
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	1.5
(セ) 良質な住宅の供給	0.8
(シ) 農林水産業の活性化対策	0.5
(キ) 環境対策	0.5
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.3
(ク) 福祉対策	0.2
(コ) 中小企業の育成	0.2
(カ) 芸術文化の振興	0.2
(イ) 防災対策の充実	-0.2
(ロ) 学校教育の充実	-0.5
(チ) 震災からの復興対策	-0.7
(ウ) 行政改革の努力	-1.0
(ク) 交通安全・防犯対策	-2.1
(オ) 生涯学習活動への支援	-3.4

神戸 『努力が必要』 - 全県結果との比較	比率 の差
(オ) 生涯学習活動への支援	5.1
(カ) 芸術文化の振興	4.1
(ウ) 行政改革の努力	4.0
(キ) 環境対策	3.4
(ロ) 学校教育の充実	3.1
(ク) 交通安全・防犯対策	2.4
(シ) 農林水産業の活性化対策	2.3
(ア) 国際的な交流や協力	2.2
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	1.7
(チ) 震災からの復興対策	1.7
(イ) 防災対策の充実	1.7
(イ) 広報・広聴活動	0.7
(ス) 交通網の整備	0.6
(ク) 福祉対策	0.2
(コ) 中小企業の育成	-0.2
(セ) 良質な住宅の供給	-0.4
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-2.7

『やっている』が前年結果から増加したのは、「広報・広聴活動」(4.3ポイント)や「環境対策」(2.2ポイント)、「中小企業の育成」(0.8ポイント)など6項目となっている。

一方、『努力が必要』が前年結果から増加したのは、「生涯学習活動への支援」(10.4ポイント)、「福祉対策」(6.9ポイント)、「農林水産業の活性化対策」(4.7ポイント)など11項目となっている。

神戸 『やっている』 - 前年結果との比較	増減
(イ) 広報・広聴活動	4.3
(キ) 環境対策	2.2
(コ) 中小企業の育成	0.8
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.4
(ス) 交通網の整備	0.4
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	0.1
(ク) 福祉対策	-1.7
(ク) 交通安全・防犯対策	-1.7
(ウ) 行政改革の努力	-2.1
(イ) 防災対策の充実	-2.1
(シ) 農林水産業の活性化対策	-2.6
(ア) 国際的な交流や協力	-3.1
(ロ) 学校教育の充実	-3.6
(カ) 芸術文化の振興	-3.8
(オ) 生涯学習活動への支援	-4.8
(セ) 良質な住宅の供給	-7.8
(チ) 震災からの復興対策	-8.7

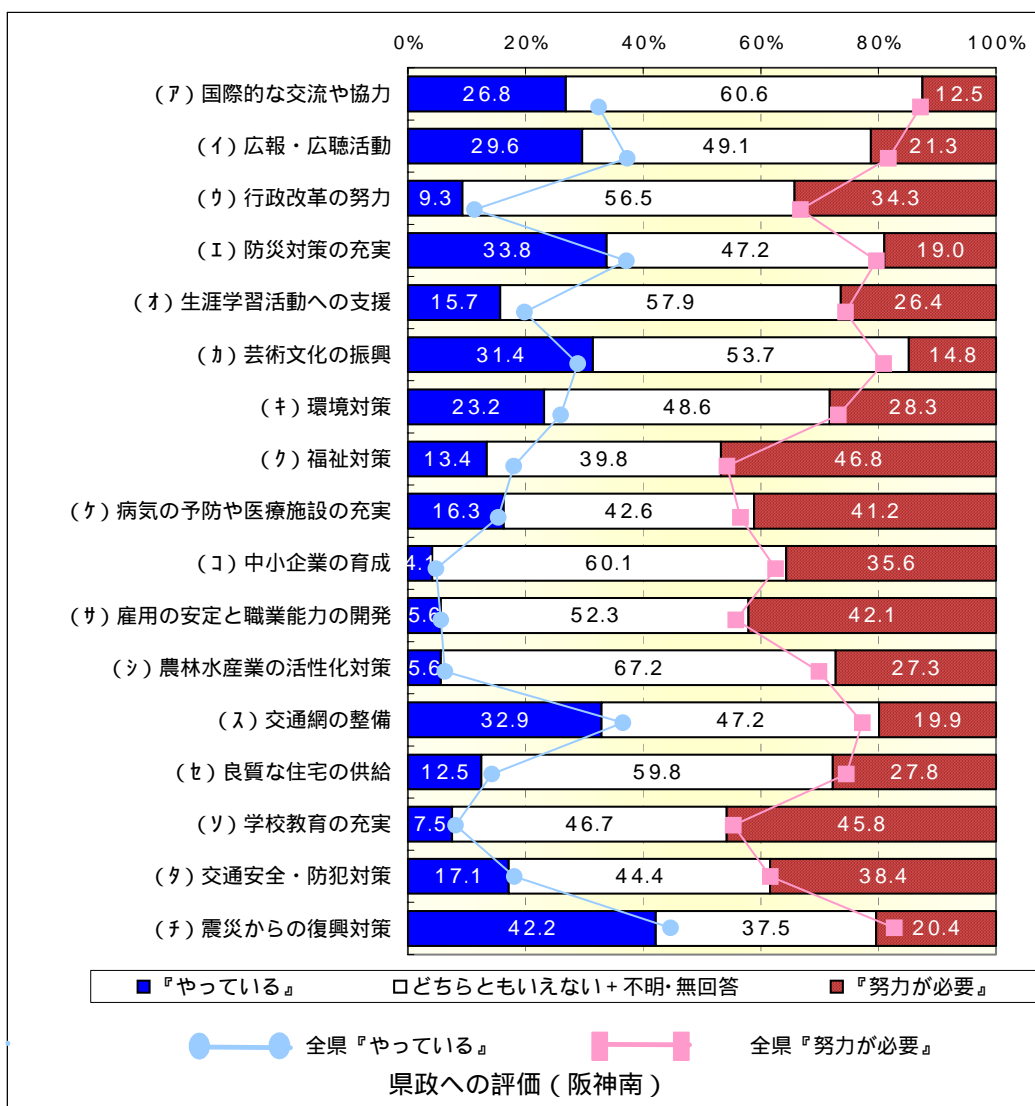
神戸 『努力が必要』 - 前年結果との比較	増減
(オ) 生涯学習活動への支援	10.4
(ク) 福祉対策	6.9
(シ) 農林水産業の活性化対策	4.7
(ア) 国際的な交流や協力	4.4
(ス) 交通網の整備	3.1
(ロ) 学校教育の充実	3.1
(カ) 芸術文化の振興	3.0
(ク) 交通安全・防犯対策	1.4
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	1.3
(チ) 震災からの復興対策	0.9
(キ) 環境対策	0.4
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-0.5
(イ) 広報・広聴活動	-0.8
(セ) 良質な住宅の供給	-1.3
(ウ) 行政改革の努力	-3.5
(コ) 中小企業の育成	-3.9
(イ) 防災対策の充実	-4.8

## 〈阪神南〉

『やっている』が最も多いのは、「震災からの復興対策」(42.2%)で、「防災対策の充実」(33.8%)、「交通網の整備」(32.9%)の順で続いている。

一方、『努力が必要』では、「福祉対策」(46.8%)、「学校教育の充実」(45.8%)、「雇用の安定と職業能力の開発」(42.1%)、「病気の予防や医療施設の充実」(41.2%)が4割を超えている。

17項目中、11項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。





『やっている』で阪神南が全県結果を上回っているのは、「芸術文化の振興」(1.7ポイント)のみとなっており、15項目で全県結果を下回っている。

一方、『努力が必要』で全県結果を上回っているのは、「震災からの復興対策」(3.4ポイント)、「広報・広聴活動」(3.3ポイント)、「良質な住宅の供給」(2.7ポイント)など9項目となっている。

阪神南 『やっている』 - 全県結果との比較	比率の差
(カ) 芸術文化の振興	1.7
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	0.0
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-1.0
(ソ) 学校教育の充実	-1.6
(コ) 中小企業の育成	-1.7
(シ) 農林水産業の活性化対策	-1.7
(ク) 交通安全・防犯対策	-1.9
(セ) 良質な住宅の供給	-2.7
(ウ) 行政改革の努力	-3.0
(チ) 震災からの復興対策	-3.1
(キ) 環境対策	-3.6
(イ) 防災対策の充実	-4.1
(ス) 交通網の整備	-4.4
(オ) 生涯学習活動への支援	-5.0
(ク) 福祉対策	-5.5
(ア) 国際的な交流や協力	-6.4
(イ) 広報・広聴活動	-8.4

阪神南 『努力が必要』 - 全県結果との比較	比率の差
(チ) 震災からの復興対策	3.4
(イ) 広報・広聴活動	3.3
(セ) 良質な住宅の供給	2.7
(キ) 環境対策	1.9
(ソ) 学校教育の充実	1.7
(ク) 福祉対策	1.6
(ウ) 行政改革の努力	1.5
(オ) 生涯学習活動への支援	1.2
(ク) 交通安全・防犯対策	0.5
(ア) 国際的な交流や協力	-0.1
(イ) 防災対策の充実	-1.0
(コ) 中小企業の育成	-1.4
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-1.6
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-1.7
(シ) 農林水産業の活性化対策	-2.4
(ス) 交通網の整備	-2.5
(カ) 芸術文化の振興	-4.0

『やっている』が前年結果から増加したのは、「交通網の整備」(0.6ポイント)と「行政改革の努力」(0.5ポイント)の2項目となっている。

一方、『努力が必要』が前年結果から増加したのは、「福祉対策」(7.6ポイント)、「学校教育の充実」(3.6ポイント)、「震災からの復興対策」(3.3ポイント)など9項目となっている。

阪神南 『やっている』 - 前年結果との比較	増減
(ス) 交通網の整備	0.6
(ウ) 行政改革の努力	0.5
(イ) 防災対策の充実	0.0
(ク) 交通安全・防犯対策	-0.1
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-0.3
(ソ) 学校教育の充実	-0.8
(セ) 良質な住宅の供給	-0.8
(カ) 芸術文化の振興	-0.9
(イ) 広報・広聴活動	-1.3
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-1.4
(シ) 農林水産業の活性化対策	-2.3
(ア) 国際的な交流や協力	-2.6
(コ) 中小企業の育成	-2.8
(キ) 環境対策	-2.8
(ク) 福祉対策	-2.8
(オ) 生涯学習活動への支援	-3.4
(チ) 震災からの復興対策	-7.3

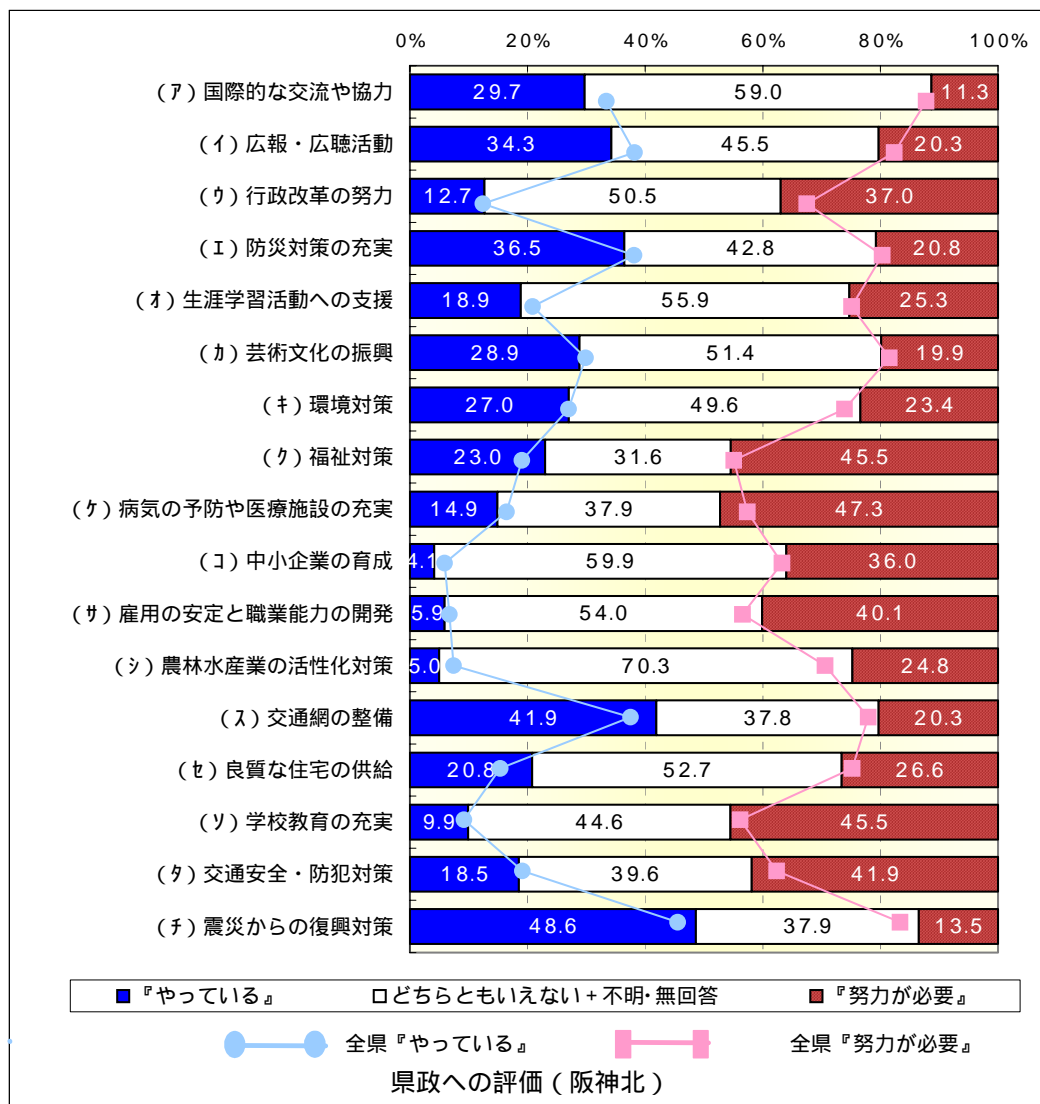
阪神南 『努力が必要』 - 前年結果との比較	増減
(ク) 福祉対策	7.6
(ソ) 学校教育の充実	3.6
(チ) 震災からの復興対策	3.3
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	2.5
(オ) 生涯学習活動への支援	1.9
(キ) 環境対策	1.8
(ス) 交通網の整備	1.7
(ア) 国際的な交流や協力	0.7
(イ) 広報・広聴活動	0.2
(シ) 農林水産業の活性化対策	-0.7
(セ) 良質な住宅の供給	-1.1
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-1.1
(コ) 中小企業の育成	-1.2
(カ) 芸術文化の振興	-3.8
(ウ) 行政改革の努力	-4.9
(ク) 交通安全・防犯対策	-8.2
(イ) 防災対策の充実	-9.4

## 〈阪神北〉

『やっている』が最も多いのは、「震災からの復興対策」で約5割（48.6％）となっており、「交通網の整備」（41.9％）、「防災対策の充実」（36.5％）の順が続いている。

一方、『努力が必要』では、「病気の予防や医療施設の充実」（47.3％）が最も多く、「福祉対策」（45.5％）、「学校教育の充実」（45.5％）、「交通安全・防犯対策」（41.9％）、「雇用の安定と職業能力の開発」（40.1％）が4割を超えて多くなっている。

17項目中、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で阪神北が全県結果を上回っているのは、「良質な住宅の供給」(5.6ポイント)や「交通網の整備」(4.6ポイント)「福祉対策」(4.1ポイント)など7項目となっている。一方、『努力が必要』で全県結果を上回っているのは、「病気の予防や医療施設の充実」(4.4ポイント)「行政改革の努力」(4.2ポイント)「交通安全・防犯対策」(4.0ポイント)など10項目となっている。

阪神北 『やっている』 - 全県結果との比較	比率の差
(セ) 良質な住宅の供給	5.6
(ス) 交通網の整備	4.6
(ク) 福祉対策	4.1
(チ) 震災からの復興対策	3.3
(ソ) 学校教育の充実	0.8
(ウ) 行政改革の努力	0.4
(キ) 環境対策	0.2
(タ) 交通安全・防犯対策	-0.5
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-0.7
(カ) 芸術文化の振興	-0.8
(イ) 防災対策の充実	-1.4
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-1.4
(コ) 中小企業の育成	-1.7
(オ) 生涯学習活動への支援	-1.8
(シ) 農林水産業の活性化対策	-2.3
(ア) 国際的な交流や協力	-3.5
(イ) 広報・広聴活動	-3.7

阪神北 『努力が必要』 - 全県結果との比較	比率の差
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	4.4
(ウ) 行政改革の努力	4.2
(タ) 交通安全・防犯対策	4.0
(イ) 広報・広聴活動	2.3
(セ) 良質な住宅の供給	1.5
(ソ) 学校教育の充実	1.4
(カ) 芸術文化の振興	1.1
(イ) 防災対策の充実	0.8
(ク) 福祉対策	0.3
(オ) 生涯学習活動への支援	0.1
(コ) 中小企業の育成	-1.0
(ア) 国際的な交流や協力	-1.3
(ス) 交通網の整備	-2.1
(キ) 環境対策	-3.0
(チ) 震災からの復興対策	-3.5
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-3.6
(シ) 農林水産業の活性化対策	-4.9

『やっている』が前年結果から増加したのは、「良質な住宅の供給」(10.2ポイント)や「交通網の整備」(8.4ポイント)「福祉対策」(6.2ポイント)など10項目となっている。一方、『努力が必要』が前年結果から増加したのは、「福祉対策」(11.5ポイント)「病気の予防や医療施設の充実」(5.7ポイント)「交通安全・防犯対策」(3.2ポイント)など8項目となっている。

阪神北 『やっている』 - 前年結果との比較	増減
(セ) 良質な住宅の供給	10.2
(ス) 交通網の整備	8.4
(ク) 福祉対策	6.2
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	3.5
(イ) 防災対策の充実	3.0
(カ) 芸術文化の振興	2.6
(チ) 震災からの復興対策	1.8
(オ) 生涯学習活動への支援	1.6
(ソ) 学校教育の充実	1.3
(ア) 国際的な交流や協力	0.1
(コ) 中小企業の育成	-0.7
(ウ) 行政改革の努力	-0.7
(キ) 環境対策	-1.2
(イ) 広報・広聴活動	-1.5
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-1.8
(シ) 農林水産業の活性化対策	-2.2
(タ) 交通安全・防犯対策	-3.5

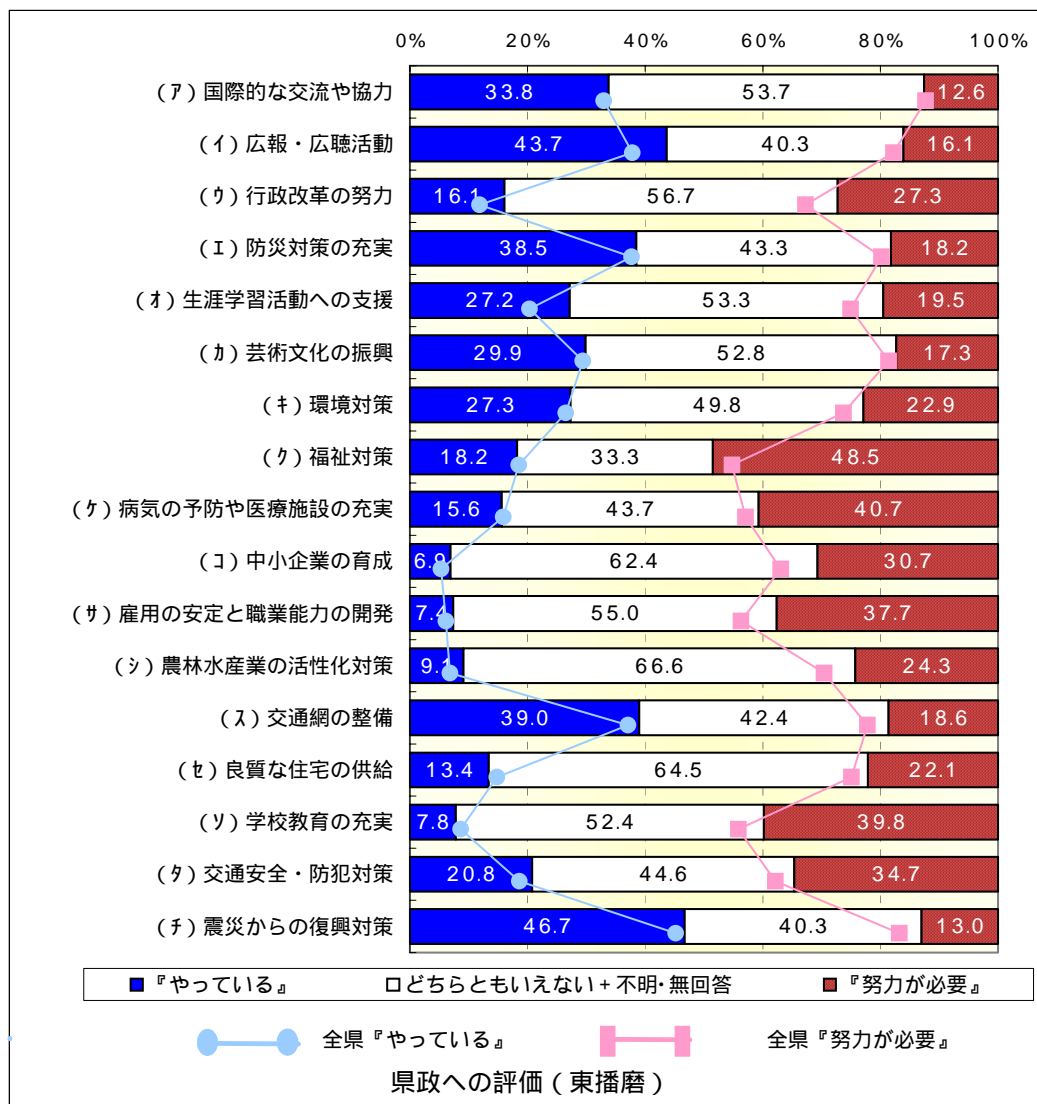
阪神北 『努力が必要』 - 前年結果との比較	増減
(ク) 福祉対策	11.5
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	5.7
(タ) 交通安全・防犯対策	3.2
(カ) 芸術文化の振興	1.2
(ソ) 学校教育の充実	1.0
(チ) 震災からの復興対策	1.0
(オ) 生涯学習活動への支援	0.9
(コ) 中小企業の育成	0.1
(セ) 良質な住宅の供給	-1.6
(イ) 広報・広聴活動	-2.2
(ウ) 行政改革の努力	-2.3
(キ) 環境対策	-2.9
(イ) 防災対策の充実	-3.1
(ア) 国際的な交流や協力	-3.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	-3.5
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-5.8
(ス) 交通網の整備	-6.5

## 《東播磨》

『やっている』が最も多いのは、「震災からの復興対策」で4割台半ばを超えており(46.7%)、「広報・広聴活動」(43.7%)、「交通網の整備」(39.0%)、「防災対策の充実」(38.5%)の順で続いている。

一方、『努力が必要』では、「福祉対策」が約5割(48.5%)と最も多く、「病気の予防や医療施設の充実」(40.7%)、「学校教育の充実」(39.8%)の順で続いている。

17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で東播磨が全県結果を上回っているのは、「生涯学習活動への支援」(6.5ポイント)や「広報・広聴活動」(5.7ポイント)、「行政改革の努力」(3.8ポイント)など13項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県結果を上回っているのは、「福祉対策」(3.3ポイント)のみとなっており、15項目で、全県結果を下回っている。

東播磨 『やっている』 - 全県結果との比較	比率 の差
(オ) 生涯学習活動への支援	6.5
(イ) 広報・広聴活動	5.7
(ウ) 行政改革の努力	3.8
(ク) 交通安全・防犯対策	1.8
(シ) 農林水産業の活性化対策	1.8
(ス) 交通網の整備	1.7
(チ) 震災からの復興対策	1.4
(コ) 中小企業の育成	1.1
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.8
(エ) 防災対策の充実	0.6
(ア) 国際的な交流や協力	0.6
(キ) 環境対策	0.5
(カ) 芸術文化の振興	0.2
(ク) 福祉対策	-0.7
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-0.7
(ヨ) 学校教育の充実	-1.3
(セ) 良質な住宅の供給	-1.8

東播磨 『努力が必要』 - 全県結果との比較	比率 の差
(ク) 福祉対策	3.3
(ア) 国際的な交流や協力	0.0
(カ) 芸術文化の振興	-1.5
(エ) 防災対策の充実	-1.8
(イ) 広報・広聴活動	-1.9
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-2.2
(セ) 良質な住宅の供給	-3.0
(ク) 交通安全・防犯対策	-3.2
(キ) 環境対策	-3.5
(ス) 交通網の整備	-3.8
(チ) 震災からの復興対策	-4.0
(ヨ) 学校教育の充実	-4.3
(シ) 農林水産業の活性化対策	-5.4
(ウ) 行政改革の努力	-5.5
(オ) 生涯学習活動への支援	-5.7
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-6.0
(コ) 中小企業の育成	-6.3

『やっている』が前年結果から増加したのは、「広報・広聴活動」(12.4ポイント)や「交通網の整備」(6.9ポイント)、「生涯学習活動への支援」(5.3ポイント)など13項目となっている。

一方、『努力が必要』が前年結果から増加したのは、「福祉対策」(9.2ポイント)、「国際的な交流や協力」(4.7ポイント)、「病気の予防や医療施設の充実」(2.2ポイント)の3項目となっている。「雇用の安定と職業の能力の開発」(10.6ポイント)、「防災対策の充実」(10.1ポイント)は前年結果から10ポイント以上低下している。

東播磨 『やっている』 - 前年結果との比較	増減
(イ) 広報・広聴活動	12.4
(ス) 交通網の整備	6.9
(オ) 生涯学習活動への支援	5.3
(カ) 芸術文化の振興	5.0
(エ) 防災対策の充実	4.9
(キ) 環境対策	4.6
(ウ) 行政改革の努力	4.4
(チ) 震災からの復興対策	3.3
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	3.2
(シ) 農林水産業の活性化対策	3.1
(ク) 交通安全・防犯対策	2.7
(コ) 中小企業の育成	2.3
(ク) 福祉対策	0.4
(セ) 良質な住宅の供給	-0.9
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-2.9
(ア) 国際的な交流や協力	-4.3
(ヨ) 学校教育の充実	-5.0

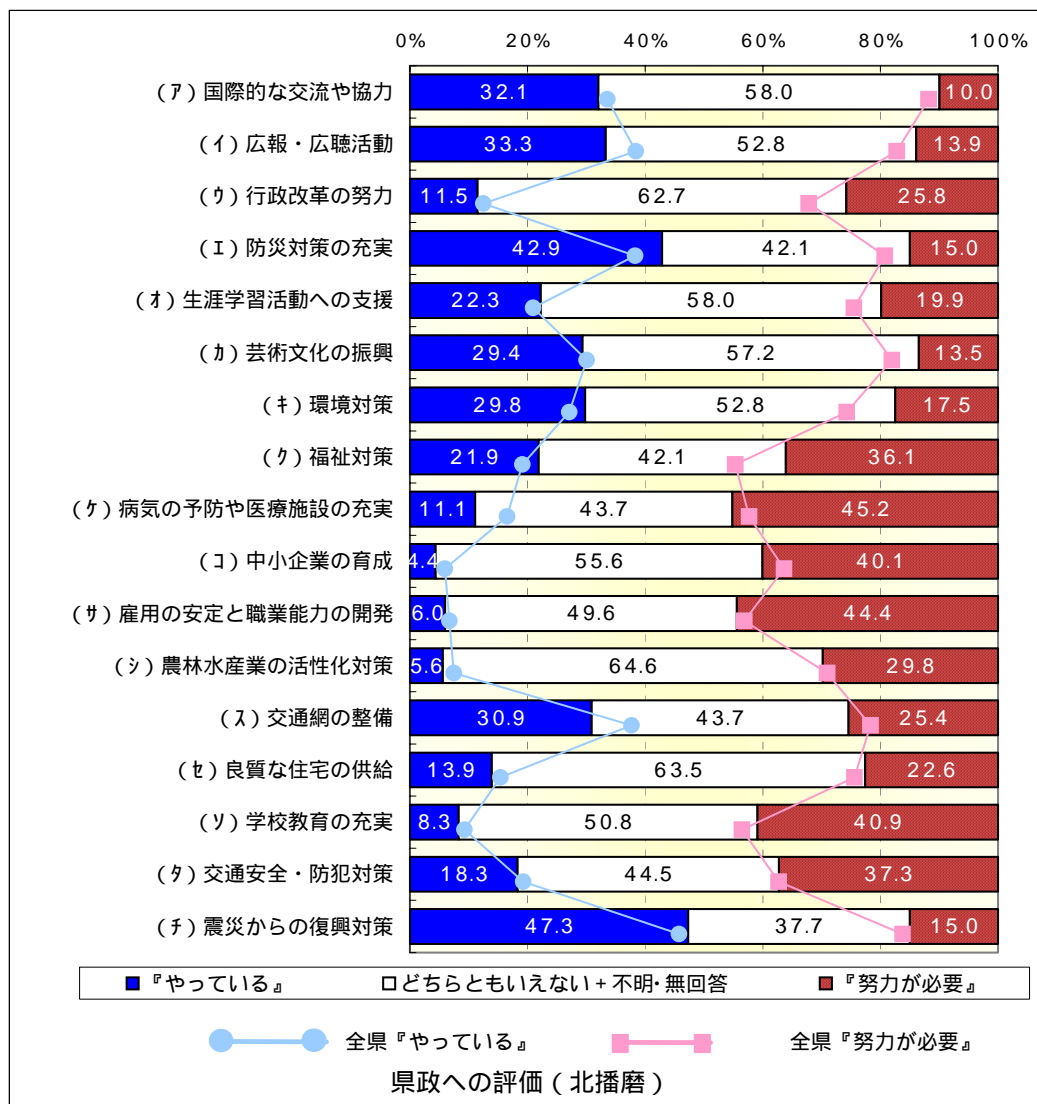
東播磨 『努力が必要』 - 前年結果との比較	増減
(ク) 福祉対策	9.2
(ア) 国際的な交流や協力	4.7
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	2.2
(カ) 芸術文化の振興	-0.5
(ヨ) 学校教育の充実	-1.7
(オ) 生涯学習活動への支援	-3.1
(イ) 広報・広聴活動	-3.6
(ス) 交通網の整備	-6.3
(ク) 交通安全・防犯対策	-6.5
(キ) 環境対策	-6.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	-7.0
(ウ) 行政改革の努力	-7.8
(セ) 良質な住宅の供給	-8.0
(チ) 震災からの復興対策	-8.1
(コ) 中小企業の育成	-9.6
(エ) 防災対策の充実	-10.1
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-10.6

## 〈北播磨〉

『やっている』が最も多いのは、「震災からの復興対策」で4割台半ばを超えており(47.3%)、「防災対策の充実」(42.9%)、「広報・広聴活動」(33.3%)の順で続いている。

一方、『努力が必要』では、「病気の予防や医療施設の充実」(45.2%)、「雇用の安定と職業能力の開発」(44.4%)、「学校教育の充実」(40.9%)、「中小企業の育成」(40.1%)が4割を超えて多くなっている。

17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で北播磨が全県結果を上回っているのは、「防災対策の充実」(5.0ポイント)や「福祉対策」(3.0ポイント)、「環境対策」(3.0ポイント)など5項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県結果を上回っているのは、「中小企業の育成」(3.1ポイント)、「交通網の整備」(3.0ポイント)、「病気の予防や医療施設の充実」(2.3ポイント)など5項目となっている。

北播磨 『やっている』 - 全県結果との比較	比率 の差
(エ) 防災対策の充実	5.0
(ク) 福祉対策	3.0
(キ) 環境対策	3.0
(チ) 震災からの復興対策	2.0
(オ) 生涯学習活動への支援	1.6
(カ) 芸術文化の振興	-0.3
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-0.6
(タ) 交通安全・防犯対策	-0.7
(リ) 学校教育の充実	-0.8
(ウ) 行政改革の努力	-0.8
(ア) 国際的な交流や協力	-1.1
(セ) 良質な住宅の供給	-1.3
(コ) 中小企業の育成	-1.4
(シ) 農林水産業の活性化対策	-1.7
(イ) 広報・広聴活動	-4.7
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-5.2
(ス) 交通網の整備	-6.4

北播磨 『努力が必要』 - 全県結果との比較	比率 の差
(コ) 中小企業の育成	3.1
(ス) 交通網の整備	3.0
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	2.3
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.7
(シ) 農林水産業の活性化対策	0.1
(タ) 交通安全・防犯対策	-0.6
(チ) 震災からの復興対策	-2.0
(セ) 良質な住宅の供給	-2.5
(ア) 国際的な交流や協力	-2.6
(リ) 学校教育の充実	-3.2
(イ) 広報・広聴活動	-4.1
(エ) 防災対策の充実	-5.0
(オ) 生涯学習活動への支援	-5.3
(カ) 芸術文化の振興	-5.3
(ウ) 行政改革の努力	-7.0
(キ) 環境対策	-8.9
(ク) 福祉対策	-9.1

『やっている』が前年結果から増加したのは、「環境対策」(4.2ポイント)、「芸術文化の振興」(2.7ポイント)、「良質な住宅の供給」(0.3ポイント)の3項目となっている。

一方、『努力が必要』が前年結果から増加したのは、「病気の予防や医療施設の充実」(9.5ポイント)、「交通安全・防犯対策」(6.1ポイント)、「学校教育の充実」(5.6ポイント)など7項目となっている。「環境対策」は、前年結果から14.1ポイント減少している。

北播磨 『やっている』 - 前年結果との比較	増減
(キ) 環境対策	4.2
(カ) 芸術文化の振興	2.7
(セ) 良質な住宅の供給	0.3
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.0
(ク) 福祉対策	-1.4
(コ) 中小企業の育成	-1.7
(エ) 防災対策の充実	-2.2
(イ) 広報・広聴活動	-3.2
(ウ) 行政改革の努力	-3.6
(オ) 生涯学習活動への支援	-5.5
(ア) 国際的な交流や協力	-5.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	-5.7
(チ) 震災からの復興対策	-6.8
(リ) 学校教育の充実	-7.5
(ス) 交通網の整備	-8.2
(タ) 交通安全・防犯対策	-9.5
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-12.6

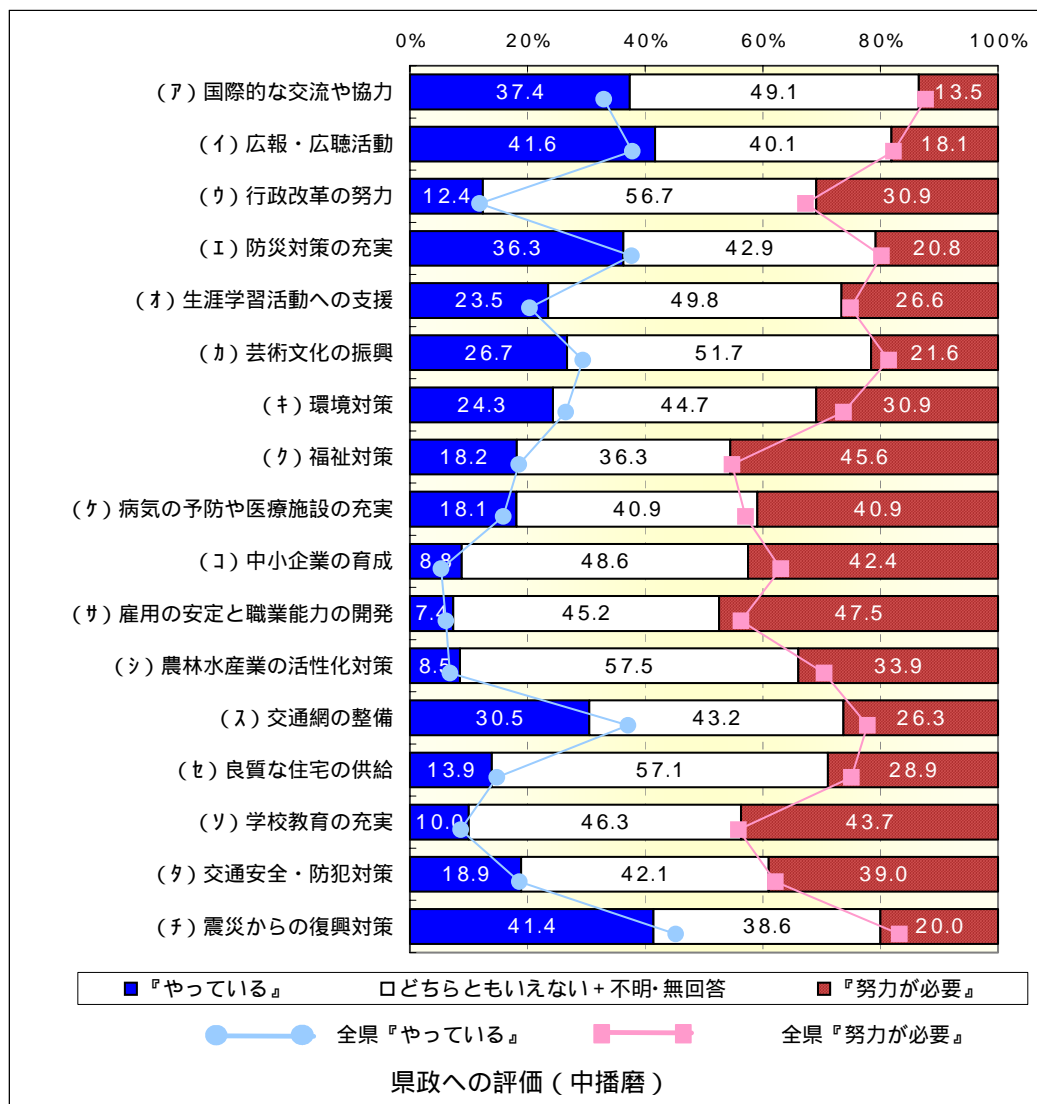
北播磨 『努力が必要』 - 前年結果との比較	増減
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	9.5
(タ) 交通安全・防犯対策	6.1
(リ) 学校教育の充実	5.6
(ス) 交通網の整備	5.1
(シ) 農林水産業の活性化対策	2.8
(オ) 生涯学習活動への支援	0.7
(セ) 良質な住宅の供給	0.4
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-0.7
(ア) 国際的な交流や協力	-1.7
(チ) 震災からの復興対策	-1.9
(コ) 中小企業の育成	-2.7
(イ) 広報・広聴活動	-3.0
(ク) 福祉対策	-3.0
(ウ) 行政改革の努力	-3.1
(カ) 芸術文化の振興	-4.2
(エ) 防災対策の充実	-8.6
(キ) 環境対策	-14.1

## 《中播磨》

『やっている』が最も多いのは「広報・広聴活動」(41.6%)で、「震災からの復興対策」(41.4%)、「国際的な交流や協力」(37.4%)、「防災対策の充実」(36.3%)の順で続いている。

一方、『努力が必要』では、「雇用の安定と職業能力の開発」(47.5%)、「福祉対策」(45.6%)、「学校教育の充実」(43.7%)、「中小企業の育成」(42.4%)、「病気の予防や医療施設の充実」(40.9%)が4割を超えて多くなっている。

17項目中、11項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。





『やっている』で中播磨が全県結果を上回っているのは、「国際的な交流や協力」(4.2ポイント)や「広報・広聴活動」(3.6ポイント)、「中小企業の育成」(3.0ポイント)など9項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県結果を上回っているのは、「中小企業の育成」(5.4ポイント)「環境対策」(4.5ポイント)「農林水産業の活性化対策」(4.2ポイント)など14項目となっている。

中播磨 『やっている』 - 全県結果との比較	比率 の差
(ア) 国際的な交流や協力	4.2
(イ) 広報・広聴活動	3.6
(ロ) 中小企業の育成	3.0
(オ) 生涯学習活動への支援	2.8
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	1.8
(シ) 農林水産業の活性化対策	1.2
(ソ) 学校教育の充実	0.9
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.8
(ウ) 行政改革の努力	0.1
(ク) 交通安全・防犯対策	-0.1
(コ) 福祉対策	-0.7
(セ) 良質な住宅の供給	-1.3
(イ) 防災対策の充実	-1.6
(キ) 環境対策	-2.5
(カ) 芸術文化の振興	-3.0
(チ) 震災からの復興対策	-3.9
(ス) 交通網の整備	-6.8

中播磨 『努力が必要』 - 全県結果との比較	比率 の差
(ロ) 中小企業の育成	5.4
(キ) 環境対策	4.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	4.2
(ス) 交通網の整備	3.9
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	3.8
(セ) 良質な住宅の供給	3.8
(チ) 震災からの復興対策	3.0
(カ) 芸術文化の振興	2.8
(オ) 生涯学習活動への支援	1.4
(ク) 交通安全・防犯対策	1.1
(ア) 国際的な交流や協力	0.9
(イ) 防災対策の充実	0.8
(コ) 福祉対策	0.4
(イ) 広報・広聴活動	0.1
(ソ) 学校教育の充実	-0.4
(ウ) 行政改革の努力	-1.9
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-2.0

『やっている』が前年結果から増加したのは、「広報・広聴活動」(5.4ポイント)や「環境対策」(2.8ポイント)「中小企業の育成」(0.5ポイント)など5項目となっている。

一方、『努力が必要』が前年結果から増加したのは、「生涯学習活動への支援」(9.1ポイント)「交通安全・防犯対策」(6.9ポイント)「環境対策」(6.5ポイント)など14項目となっている。

中播磨 『やっている』 - 前年結果との比較	増減
(イ) 広報・広聴活動	5.4
(キ) 環境対策	2.8
(ロ) 中小企業の育成	0.5
(ア) 国際的な交流や協力	0.2
(セ) 良質な住宅の供給	0.1
(コ) 福祉対策	-0.2
(シ) 農林水産業の活性化対策	-0.2
(ス) 交通網の整備	-0.7
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-0.9
(カ) 芸術文化の振興	-1.3
(イ) 防災対策の充実	-1.4
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-1.7
(ウ) 行政改革の努力	-1.8
(オ) 生涯学習活動への支援	-2.2
(ク) 交通安全・防犯対策	-2.2
(ソ) 学校教育の充実	-4.7
(チ) 震災からの復興対策	-7.2

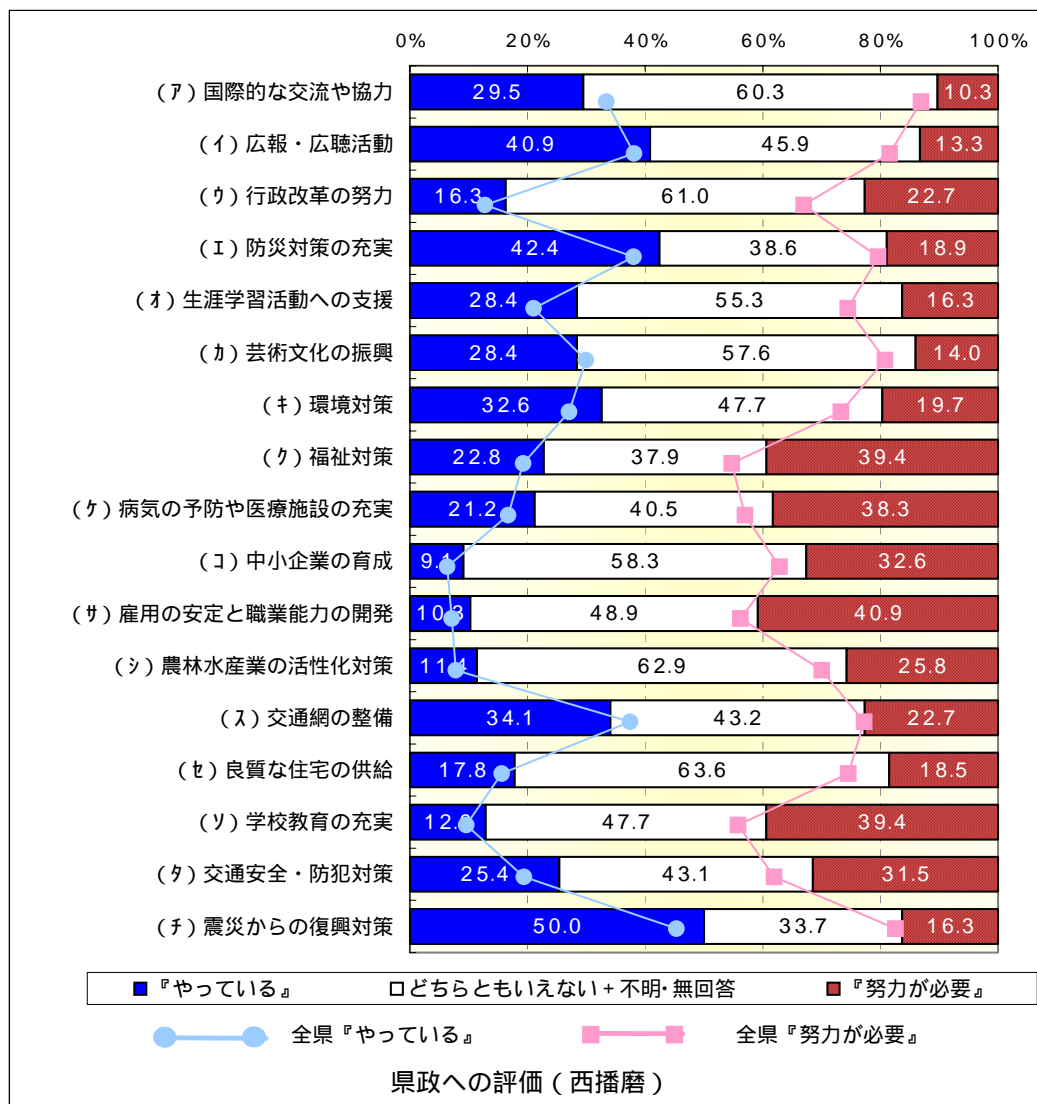
中播磨 『努力が必要』 - 前年結果との比較	増減
(オ) 生涯学習活動への支援	9.1
(ク) 交通安全・防犯対策	6.9
(キ) 環境対策	6.5
(ロ) 中小企業の育成	6.2
(コ) 福祉対策	6.2
(カ) 芸術文化の振興	6.0
(ソ) 学校教育の充実	4.7
(ス) 交通網の整備	4.3
(チ) 震災からの復興対策	3.9
(セ) 良質な住宅の供給	3.6
(イ) 広報・広聴活動	3.4
(シ) 農林水産業の活性化対策	3.2
(ウ) 行政改革の努力	2.9
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	2.1
(ア) 国際的な交流や協力	-0.2
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-1.3
(イ) 防災対策の充実	-4.8

## 《西播磨》

『やっている』が最も多いのは、「震災からの復興対策」で5割(50.0%)となっており、「防災対策の充実」(42.4%)、「広報・広聴活動」(40.9%)の順で続いている。

一方、『努力が必要』では、「雇用の安定と職業能力の開発」(40.9%)、「学校教育の充実」(39.4%)、「福祉対策」(39.4%)、「病気の予防や医療施設の充実」(38.3%)の順で続いている。

17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で西播磨が全県結果を上回っているのは、「生涯学習活動への支援」(7.7ポイント)や「交通安全・防犯対策」(6.4ポイント)、「環境対策」(5.8ポイント)など14項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県結果を上回っているのは、「交通網の整備」(0.3ポイント)のみで、「行政改革の努力」(-10.1ポイント)など16項目で全県結果を下回っている。

西播磨 『やっている』 - 全県結果との比較	比率の差
(オ) 生涯学習活動への支援	7.7
(ク) 交通安全・防犯対策	6.4
(キ) 環境対策	5.8
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	4.9
(チ) 震災からの復興対策	4.7
(イ) 防災対策の充実	4.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	4.1
(ウ) 行政改革の努力	4.0
(ク) 福祉対策	3.9
(ヨ) 学校教育の充実	3.8
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	3.7
(コ) 中小企業の育成	3.3
(イ) 広報・広聴活動	2.9
(セ) 良質な住宅の供給	2.6
(カ) 芸術文化の振興	-1.3
(入) 交通網の整備	-3.2
(ア) 国際的な交流や協力	-3.7

西播磨 『努力が必要』 - 全県結果との比較	比率の差
(入) 交通網の整備	0.3
(チ) 震災からの復興対策	-0.7
(イ) 防災対策の充実	-1.1
(ア) 国際的な交流や協力	-2.3
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-2.8
(シ) 農林水産業の活性化対策	-3.9
(コ) 中小企業の育成	-4.4
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-4.6
(イ) 広報・広聴活動	-4.7
(ヨ) 学校教育の充実	-4.7
(カ) 芸術文化の振興	-4.8
(ク) 福祉対策	-5.8
(ク) 交通安全・防犯対策	-6.4
(セ) 良質な住宅の供給	-6.6
(キ) 環境対策	-6.7
(オ) 生涯学習活動への支援	-8.9
(ウ) 行政改革の努力	-10.1

『やっている』が前年結果から増加したのは、「環境対策」(12.6ポイント)や「農林水産業の活性化対策」(5.7ポイント)、「雇用の安定と職業能力の開発」(4.6ポイント)など11項目となっている。

一方、『努力が必要』が前年結果から増加したのは、「学校教育の充実」(4.6ポイント)、「福祉対策」(3.9ポイント)、「交通安全・防犯対策」(2.4ポイント)など7項目となっている。「環境対策」は、前年結果から10.5ポイント減少している。

西播磨 『やっている』 - 前年結果との比較	増減
(キ) 環境対策	12.6
(シ) 農林水産業の活性化対策	5.7
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	4.6
(コ) 中小企業の育成	4.2
(イ) 広報・広聴活動	4.2
(ウ) 行政改革の努力	3.5
(入) 交通網の整備	2.1
(セ) 良質な住宅の供給	0.8
(チ) 震災からの復興対策	0.6
(カ) 芸術文化の振興	0.5
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	0.5
(イ) 防災対策の充実	-0.9
(オ) 生涯学習活動への支援	-1.4
(ク) 交通安全・防犯対策	-1.4
(ク) 福祉対策	-2.4
(ヨ) 学校教育の充実	-5.6
(ア) 国際的な交流や協力	-6.7

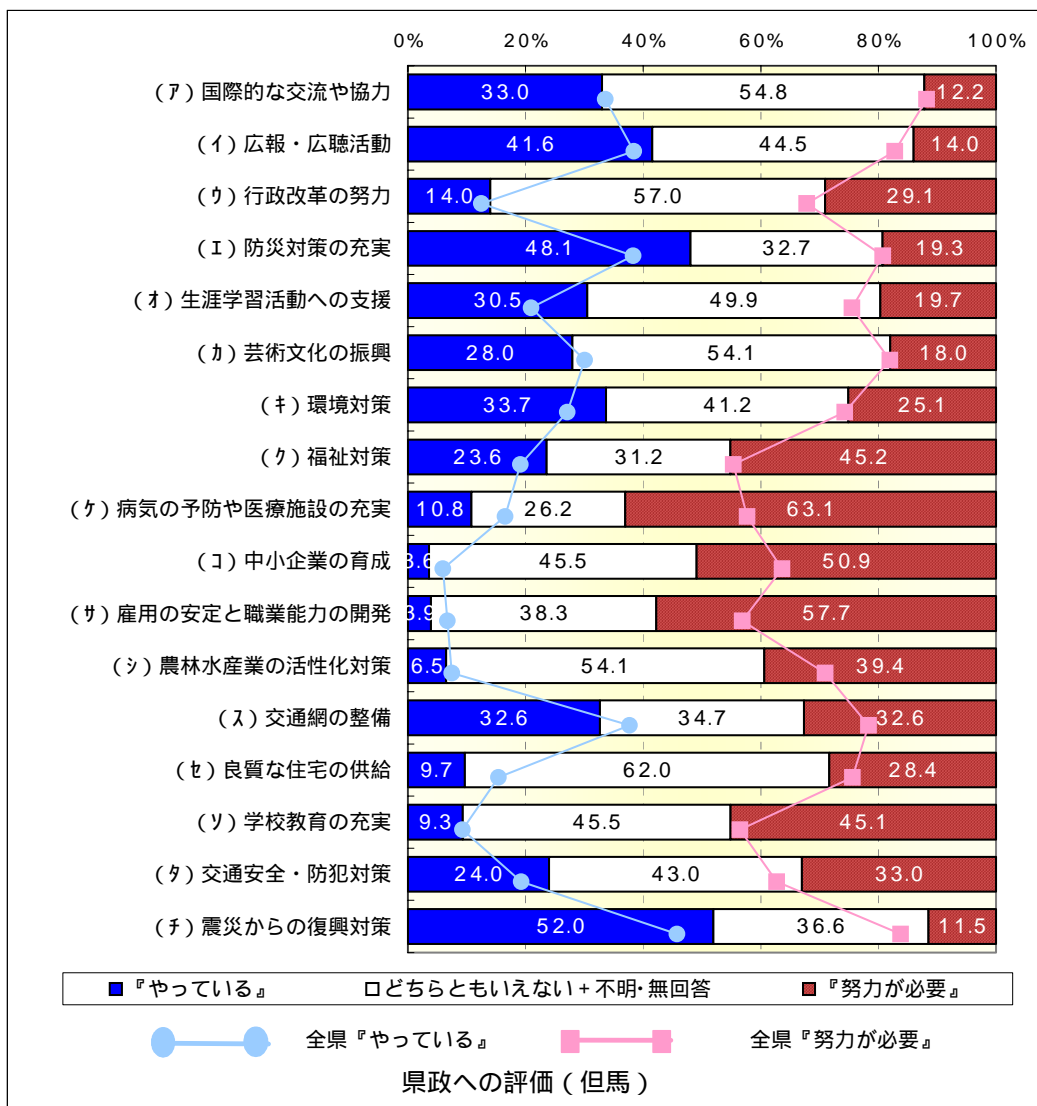
西播磨 『努力が必要』 - 前年結果との比較	増減
(ヨ) 学校教育の充実	4.6
(ク) 福祉対策	3.9
(ク) 交通安全・防犯対策	2.4
(ア) 国際的な交流や協力	1.6
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	1.4
(イ) 広報・広聴活動	0.8
(カ) 芸術文化の振興	0.4
(チ) 震災からの復興対策	-1.1
(オ) 生涯学習活動への支援	-1.8
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-2.1
(コ) 中小企業の育成	-2.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	-2.5
(入) 交通網の整備	-2.6
(セ) 良質な住宅の供給	-6.0
(ウ) 行政改革の努力	-6.7
(イ) 防災対策の充実	-7.5
(キ) 環境対策	-10.5

## 《但馬》

『やっている』が最も多いのは、「震災からの復興対策」で5割を超え（52.0%）、全県の中で比率が最も高くなっており、「防災対策の充実」（48.1%）、「広報・広聴活動」（41.6%）の順で続いている。

一方、『努力が必要』では、「病気の予防や医療施設の充実」が6割を超え（63.1%）ているほか、「雇用の安定と職業能力の開発」（57.7%）と「中小企業の育成」（50.9%）が5割を超えて多くなっている。

17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で但馬が全県結果を上回っているのは、「防災対策の充実」(10.2ポイント)や「生涯学習活動への支援」(9.8ポイント)、「環境対策」(6.9ポイント)など9項目となっている。

一方、『努力が必要』では、「病気の予防や医療施設の充実」が20.2ポイント全県結果を上回っているほか、「雇用の安定と職業能力の開発」(14.0ポイント)、「中小企業の育成」(13.9ポイント)、「交通網の整備」(10.2ポイント)の3項目が10ポイント以上全県結果を上回っている。

但馬	『やっている』 - 全県結果との比較	比率の差
(イ)	防災対策の充実	10.2
(オ)	生涯学習活動への支援	9.8
(キ)	環境対策	6.9
(チ)	震災からの復興対策	6.7
(ク)	交通安全・防犯対策	5.0
(ケ)	福祉対策	4.7
(イ)	広報・広聴活動	3.6
(ウ)	行政改革の努力	1.7
(ロ)	学校教育の充実	0.2
(ア)	国際的な交流や協力	-0.2
(シ)	農林水産業の活性化対策	-0.8
(カ)	芸術文化の振興	-1.7
(コ)	中小企業の育成	-2.2
(サ)	雇用の安定と職業能力の開発	-2.7
(ス)	交通網の整備	-4.7
(セ)	良質な住宅の供給	-5.5
(ケ)	病気の予防や医療施設の充実	-5.5

但馬	『努力が必要』 - 全県結果との比較	比率の差
(ケ)	病気の予防や医療施設の充実	20.2
(サ)	雇用の安定と職業能力の開発	14.0
(コ)	中小企業の育成	13.9
(ス)	交通網の整備	10.2
(シ)	農林水産業の活性化対策	9.7
(セ)	良質な住宅の供給	3.3
(ロ)	学校教育の充実	1.0
(ク)	福祉対策	0.0
(ア)	国際的な交流や協力	-0.4
(イ)	防災対策の充実	-0.7
(カ)	芸術文化の振興	-0.8
(キ)	環境対策	-1.3
(ウ)	行政改革の努力	-3.7
(イ)	広報・広聴活動	-4.0
(ク)	交通安全・防犯対策	-4.9
(オ)	生涯学習活動への支援	-5.5
(チ)	震災からの復興対策	-5.5

『やっている』が前年結果から増加したのは、「防災対策の充実」(10.3ポイント)や「生涯学習活動への支援」(7.4ポイント)、「広報・広聴活動」(5.1ポイント)など7項目となっている。

一方、『努力が必要』では、「病気の予防や医療施設の充実」が24.3ポイント前年結果から増加しているほか、「中小企業の育成」(14.1ポイント)、「学校教育の充実」(14.1ポイント)、「福祉対策」(12.6ポイント)、「雇用の安定と職業能力の開発」(10.8ポイント)が10ポイント以上前年結果から増加しているなど、13項目が増加している。

但馬	『やっている』 - 前年結果との比較	増減
(イ)	防災対策の充実	10.3
(オ)	生涯学習活動への支援	7.4
(イ)	広報・広聴活動	5.1
(キ)	環境対策	5.0
(チ)	震災からの復興対策	3.5
(ス)	交通網の整備	2.9
(カ)	芸術文化の振興	1.3
(サ)	雇用の安定と職業能力の開発	-2.0
(ウ)	行政改革の努力	-2.2
(ア)	国際的な交流や協力	-2.5
(シ)	農林水産業の活性化対策	-2.9
(ク)	交通安全・防犯対策	-4.3
(コ)	中小企業の育成	-4.6
(ク)	福祉対策	-6.7
(ロ)	学校教育の充実	-7.3
(セ)	良質な住宅の供給	-7.9
(ケ)	病気の予防や医療施設の充実	-14.3

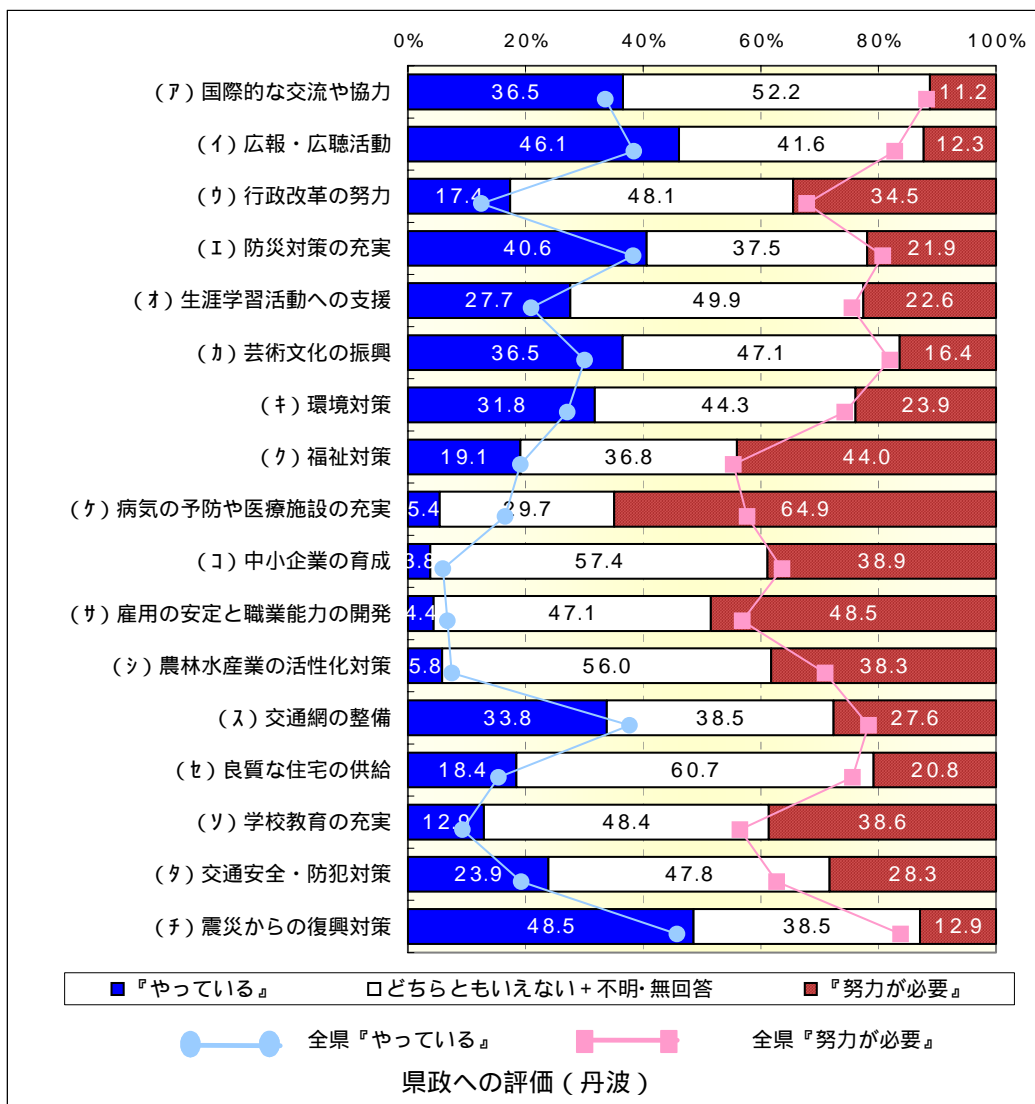
但馬	『努力が必要』 - 前年結果との比較	増減
(ケ)	病気の予防や医療施設の充実	24.3
(コ)	中小企業の育成	14.1
(ロ)	学校教育の充実	14.1
(ク)	福祉対策	12.6
(サ)	雇用の安定と職業能力の開発	10.8
(シ)	農林水産業の活性化対策	7.4
(ク)	交通安全・防犯対策	4.9
(セ)	良質な住宅の供給	4.6
(カ)	芸術文化の振興	2.7
(ウ)	行政改革の努力	1.8
(ス)	交通網の整備	1.3
(ア)	国際的な交流や協力	0.5
(キ)	環境対策	0.4
(イ)	広報・広聴活動	-0.3
(オ)	生涯学習活動への支援	-1.8
(チ)	震災からの復興対策	-4.8
(イ)	防災対策の充実	-7.4

## 《丹波》

『やっている』が最も多いのは「震災からの復興対策」で約5割(48.5%)となっており、「広報・広聴活動」(46.1%)、「防災対策の充実」(40.6%)の順で続いている。

一方、『努力が必要』では、「病気の予防や医療施設の充実」が6割台半ば(64.9%)となっているほか、「雇用の安定と職業能力の開発」(48.5%)、「福祉対策」(44.0%)が4割を超えて多くなっている。

17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で丹波が全県結果を上回っているのは、「広報・広聴活動」(8.1ポイント)、  
「生涯学習活動への支援」(7.0ポイント)や「芸術文化の振興」(6.8ポイント)など12項目と  
なっている。

一方、『努力が必要』では、「病気の予防や医療施設の充実」が22.0ポイント全県結果を上回  
っているほか、「農林水産業の活性化対策」(8.6ポイント)、「交通網の整備」(5.2ポイント)な  
ど7項目が全県結果を上回っている。

丹波 『やっている』 - 全県結果との比較	比率 の差
(イ) 広報・広聴活動	8.1
(オ) 生涯学習活動への支援	7.0
(カ) 芸術文化の振興	6.8
(ウ) 行政改革の努力	5.1
(キ) 環境対策	5.0
(ク) 交通安全・防犯対策	4.9
(ヨ) 学校教育の充実	3.8
(ア) 国際的な交流や協力	3.3
(チ) 震災からの復興対策	3.2
(セ) 良質な住宅の供給	3.2
(エ) 防災対策の充実	2.7
(ク) 福祉対策	0.2
(シ) 農林水産業の活性化対策	-1.5
(コ) 中小企業の育成	-2.0
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-2.2
(ス) 交通網の整備	-3.5
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-10.9

丹波 『努力が必要』 - 全県結果との比較	比率 の差
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	22.0
(シ) 農林水産業の活性化対策	8.6
(ス) 交通網の整備	5.2
(ウ) 雇用の安定と職業能力の開発	4.8
(エ) 防災対策の充実	1.9
(コ) 中小企業の育成	1.9
(ウ) 行政改革の努力	1.7
(ク) 福祉対策	-1.2
(ア) 国際的な交流や協力	-1.4
(カ) 芸術文化の振興	-2.4
(キ) 環境対策	-2.5
(オ) 生涯学習活動への支援	-2.6
(チ) 震災からの復興対策	-4.1
(セ) 良質な住宅の供給	-4.3
(ヨ) 学校教育の充実	-5.5
(イ) 広報・広聴活動	-5.7
(ク) 交通安全・防犯対策	-9.6

『やっている』が前年結果から増加したのは、「防災対策の充実」(2.4ポイント)、「広報・  
広聴活動」(1.9ポイント)、「芸術文化の振興」(0.3ポイント)の3項目となっている。

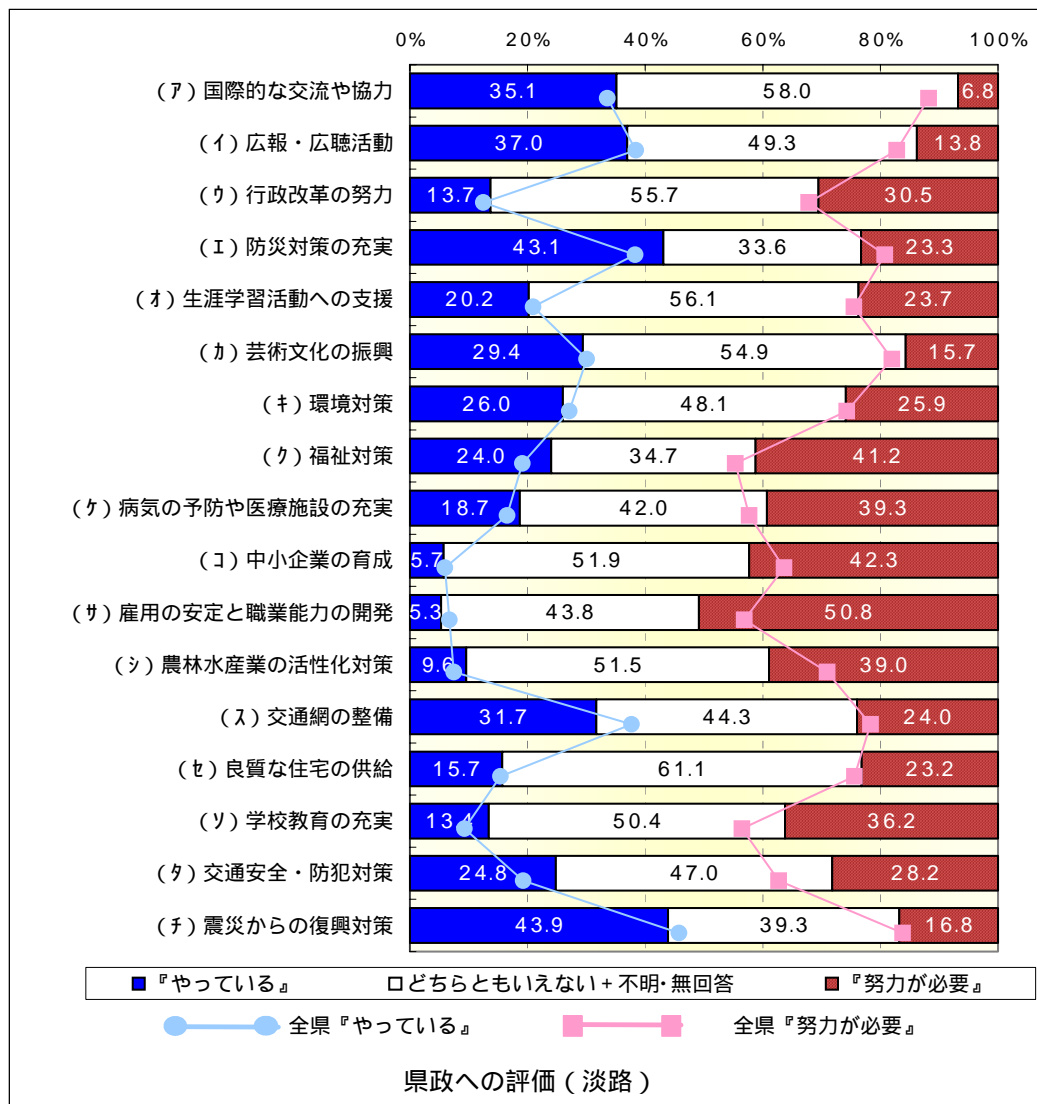
一方、『努力が必要』では、「病気の予防や医療施設の充実」が21.7ポイント前年結果から増  
加しているほか、「福祉対策」(4.4ポイント)、「生涯学習活動への支援」(4.0ポイント)など6  
項目が増加している。

丹波 『やっている』 - 前年結果との比較	増減
(エ) 防災対策の充実	2.4
(イ) 広報・広聴活動	1.9
(カ) 芸術文化の振興	0.3
(ス) 交通網の整備	-0.1
(チ) 震災からの復興対策	-1.3
(ウ) 行政改革の努力	-1.6
(ヨ) 学校教育の充実	-1.7
(ク) 交通安全・防犯対策	-2.3
(ア) 国際的な交流や協力	-2.4
(キ) 環境対策	-2.5
(セ) 良質な住宅の供給	-2.5
(コ) 中小企業の育成	-3.1
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-3.2
(ク) 福祉対策	-3.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	-4.5
(オ) 生涯学習活動への支援	-4.6
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	-16.9

丹波 『努力が必要』 - 前年結果との比較	増減
(ケ) 病気の予防や医療施設の充実	21.7
(ク) 福祉対策	4.4
(オ) 生涯学習活動への支援	4.0
(キ) 環境対策	1.0
(カ) 芸術文化の振興	0.8
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.7
(ウ) 行政改革の努力	-0.4
(ア) 国際的な交流や協力	-0.4
(エ) 防災対策の充実	-2.4
(イ) 広報・広聴活動	-2.7
(シ) 農林水産業の活性化対策	-3.5
(ヨ) 学校教育の充実	-3.6
(ス) 交通網の整備	-4.3
(ク) 交通安全・防犯対策	-4.6
(コ) 中小企業の育成	-4.9
(チ) 震災からの復興対策	-5.1
(セ) 良質な住宅の供給	-6.8

## 〈淡路〉

『やっている』が最も多いのは「震災からの復興対策」(43.9%)で、「防災対策の充実」(43.1%)、「広報・広聴活動」(37.0%)、「国際的な交流や協力」(35.1%)の順で続いている。一方、『努力が必要』では、「雇用の安定と職業能力の開発」が5割を超えている(50.8%)ほか、「中小企業の育成」(42.3%)、「福祉対策」(41.2%)が4割を超えて多くなっている。17項目中、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。





『やっている』で淡路が全県結果を上回っているのは、「交通安全・防犯対策」(5.8ポイント)や「防災対策の充実」(5.2ポイント)、「福祉対策」(5.1ポイント)など9項目となっている。一方、『努力が必要』で全県結果を上回っているのは、「農林水産業の活性化対策」(9.3ポイント)、「雇用の安定と職業能力の開発」(7.1ポイント)、「中小企業の育成」(5.3ポイント)など5項目となっている。

淡路	『やっている』 - 全県結果との比較	比率の差
(ク)	交通安全・防犯対策	5.8
(イ)	防災対策の充実	5.2
(ク)	福祉対策	5.1
(ロ)	学校教育の充実	4.3
(ケ)	病気の予防や医療施設の充実	2.4
(シ)	農林水産業の活性化対策	2.3
(ア)	国際的な交流や協力	1.9
(ウ)	行政改革の努力	1.4
(セ)	良質な住宅の供給	0.5
(コ)	中小企業の育成	-0.1
(カ)	芸術文化の振興	-0.3
(オ)	生涯学習活動への支援	-0.5
(キ)	環境対策	-0.8
(イ)	広報・広聴活動	-1.0
(サ)	雇用の安定と職業能力の開発	-1.3
(チ)	震災からの復興対策	-1.4
(ス)	交通網の整備	-5.6

淡路	『努力が必要』 - 全県結果との比較	比率の差
(シ)	農林水産業の活性化対策	9.3
(サ)	雇用の安定と職業能力の開発	7.1
(コ)	中小企業の育成	5.3
(イ)	防災対策の充実	3.3
(ス)	交通網の整備	1.6
(チ)	震災からの復興対策	-0.2
(キ)	環境対策	-0.5
(オ)	生涯学習活動への支援	-1.5
(セ)	良質な住宅の供給	-1.9
(ウ)	行政改革の努力	-2.3
(カ)	芸術文化の振興	-3.1
(ケ)	病気の予防や医療施設の充実	-3.6
(ク)	福祉対策	-4.0
(イ)	広報・広聴活動	-4.2
(ア)	国際的な交流や協力	-5.8
(ロ)	学校教育の充実	-7.9
(ク)	交通安全・防犯対策	-9.7

『やっている』が前年結果から増加したのは、「防災対策の充実」(7.8ポイント)や「芸術文化の振興」(4.2ポイント)、「交通網の整備」(3.7ポイント)など6項目となっている。一方、『努力が必要』が前年結果から増加したのは、「中小企業の育成」(8.1ポイント)、「行政改革の努力」(6.1ポイント)、「雇用の安定と職業能力の開発」(6.1ポイント)など11項目となっている。

淡路	『やっている』 - 前年結果との比較	増減
(イ)	防災対策の充実	7.8
(カ)	芸術文化の振興	4.2
(ス)	交通網の整備	3.7
(ア)	国際的な交流や協力	3.4
(キ)	環境対策	3.2
(ク)	交通安全・防犯対策	1.6
(シ)	農林水産業の活性化対策	-0.1
(ロ)	学校教育の充実	-1.2
(チ)	震災からの復興対策	-1.2
(イ)	広報・広聴活動	-1.6
(オ)	生涯学習活動への支援	-1.7
(コ)	中小企業の育成	-2.4
(ク)	福祉対策	-2.8
(サ)	雇用の安定と職業能力の開発	-3.2
(セ)	良質な住宅の供給	-3.4
(ケ)	病気の予防や医療施設の充実	-5.3
(ウ)	行政改革の努力	-5.4

淡路	『努力が必要』 - 前年結果との比較	増減
(コ)	中小企業の育成	8.1
(ウ)	行政改革の努力	6.1
(サ)	雇用の安定と職業能力の開発	6.1
(ク)	福祉対策	3.9
(ケ)	病気の予防や医療施設の充実	3.6
(オ)	生涯学習活動への支援	2.9
(ロ)	学校教育の充実	1.6
(カ)	芸術文化の振興	1.4
(シ)	農林水産業の活性化対策	1.2
(セ)	良質な住宅の供給	0.5
(ク)	交通安全・防犯対策	0.2
(ア)	国際的な交流や協力	-0.2
(イ)	広報・広聴活動	-0.9
(チ)	震災からの復興対策	-1.9
(ス)	交通網の整備	-4.0
(キ)	環境対策	-4.2
(イ)	防災対策の充実	-5.1